

日本教育心理学会 第67回総会プログラム

Program of the 67th Annual Meeting of
the Japanese Association of Educational Psychology



2025年10月11日(土)～10月13日(月・祝)

児童教育実践についての 研究助成

第21回(2026年度)

「ことばの力」を育む研究と児童教育実践の質の向上を目的に、
大学、研究機関および教育実践に関わる方を対象に優れた研究を助成しています。
新しい視点をもつ研究成果が、実践の場で反映され
児童教育の基盤が充実していくことが期待される研究を主に助成しています。

対象となる研究

「ことばの力」を育む研究

- 国語・日本語教育の諸分野における研究
- あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究

児童教育実践の質を向上させる研究

- 多様な場における教育実践の質を向上させる研究

※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。

応募資格

日本の学校・教育委員会に所属する 教育実践に携わる方

- 教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員など

日本の大学・公的研究機関に所属する研究者

- 准教授、講師、助教、博士課程の院生など
若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く

※所属機関の所在地は、日本国内に限り、日本在住者のみ対象とする。 ※有給・無給、常勤・非常勤、年齢、国籍、学位は不問(ただし、学生の場合は修士号取得以上とする)。
※個人研究、グループ研究ともに可。グループ研究の場合は、応募時点で全員が応募資格に適すること。 ※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

助成期間

2026年4月1日から1年間または2年間

※2ヵ年助成の場合は1年経過時に中間報告の必要があります。

助成金額

1ヵ年助成:1件につき200万円を限度に助成します

2ヵ年助成:1件につき300万円を限度に助成します

応募受付期間

2025年7月1日(火)～10月27日(月)

採否通知

2026年2月下旬

審査委員

※五十音順(審査委員長除く)/敬称略

藤森 裕治	審査委員長/文教大学	教授
米田 英嗣	青山学院大学	教授
田中 祐輔	筑波大学	教授
針生 悦子	東京大学大学院	教授
藤野 博	東京学芸大学大学院	教授



詳細は、当財団ホームページを
ご覧ください。

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

〒100-0011 東京都千代田区千代田内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階 TEL:03-6206-6266 FAX:03-6206-6582

日本教育心理学会 第67回総会 プログラム

Program of the 67th Annual Meeting of
the Japanese Association of Educational Psychology

2025年10月11日(土)～13日(月・祝)

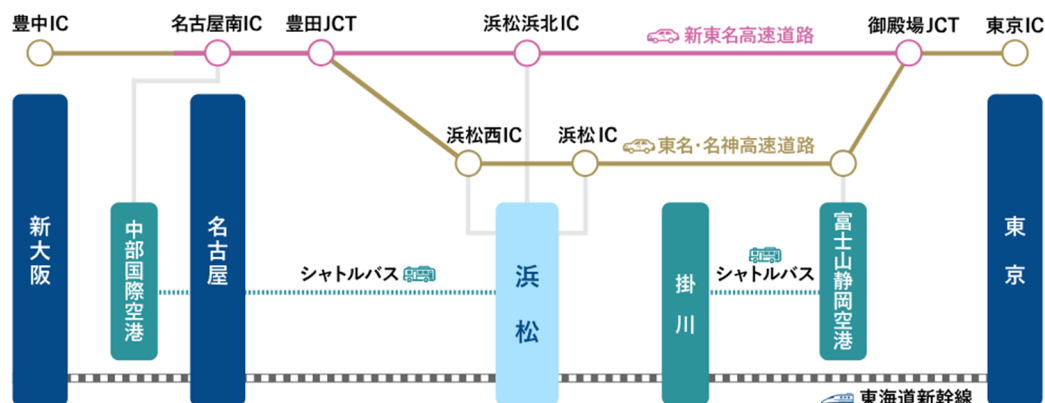
アクトシティ浜松 コンgressセンター

オークラアクトシティホテル浜松

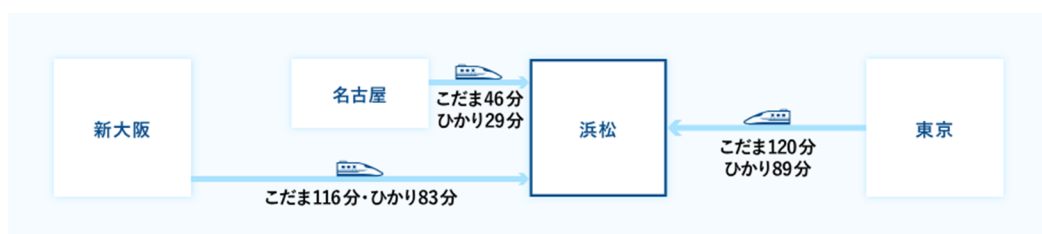
目 次

交通アクセス	1
会場へのアクセス	2
会場フロア案内	4
会場フロアマップ	5
参加者へのご案内	10
研究発表のご案内	12
総会日程	14
学会企画シンポジウム等	17
会員企画シンポジウム	25
ポスター発表	37

交通アクセス



新幹線・在来線をご利用の場合



新幹線・在来線ともにJR浜松駅をご利用ください。JR浜松駅から徒歩5～6分程度です

飛行機をご利用の場合



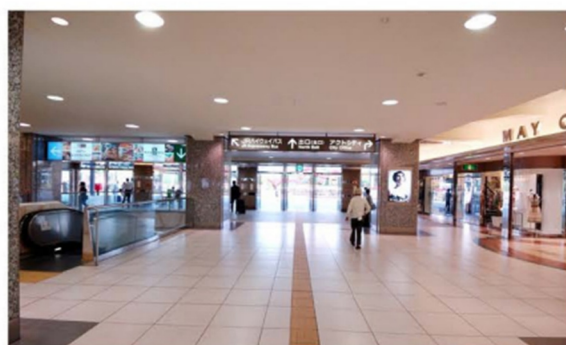
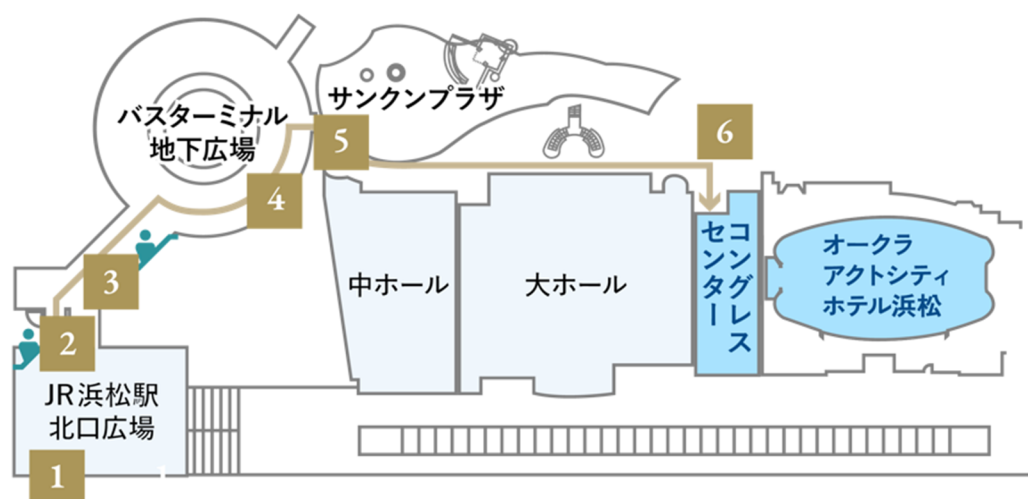
掛川⇨富士山静岡空港のシャトルバスはFDA搭乗の方のみ利用可能な無料アクセスバスです。

車をご利用の場合

- 名古屋方面から・・・東名高速浜松西I.C.より車で30 - 40分
- 東京方面から・・・東名高速浜松I.C.より車で30 - 40分

会場へのアクセス

【会場】 アクトシティ浜松 コンgressセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1



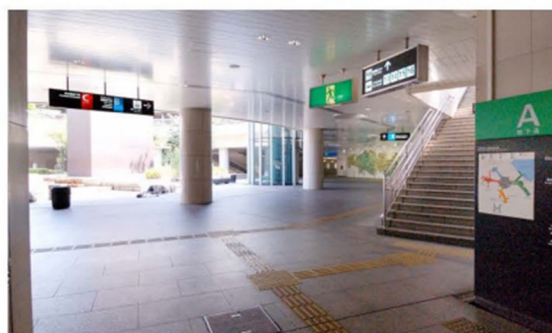
1 JR浜松駅

東海道線改札または東海道新幹線改札を出て右手、北口へ。



2 JR浜松駅北口広場

北口を出た後、正面に地下へ下りるエスカレーター・階段があるので地下1階へ降りる。
(エレベーターも階段の横奥にあります。お体の不自由な方はエレベーターをご利用下さい。)



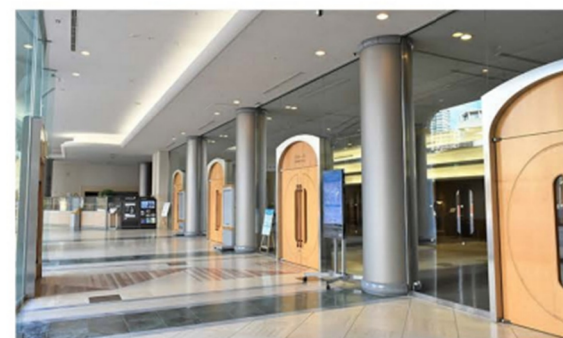
3 バスターミナル エスカレーター前

地下へ下り直進するとバスターミナルへ行くエスカレーターがあり、その横を通過すると吹き抜けがある広場へ出る。



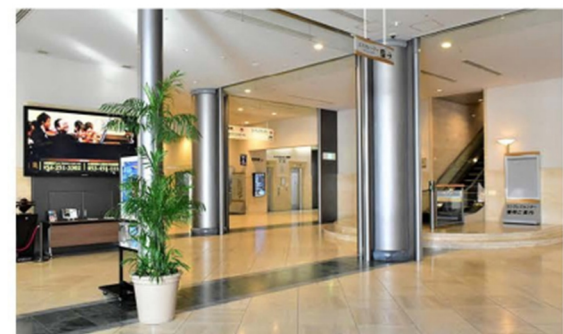
4 バスターミナル地下広場

右壁沿いに進むと青色の看板「B アクトシティ連絡地下道」があり通路を直進。



5 アクトシティ浜松入口

通路を抜けると右手に自動扉があり、入る。すぐ右手に中ホール入口がある。



6 財団事務室前

館内を進むと、インフォメーションが左手に見え、右手に財団事務室がある。財団事務室手前のエスカレーターまたはエレベーターでコンgresセンターへ。
(そのまま直進すると飲食店街に入ります)

会場フロア案内

アクトシティ浜松 コンGRESセンター

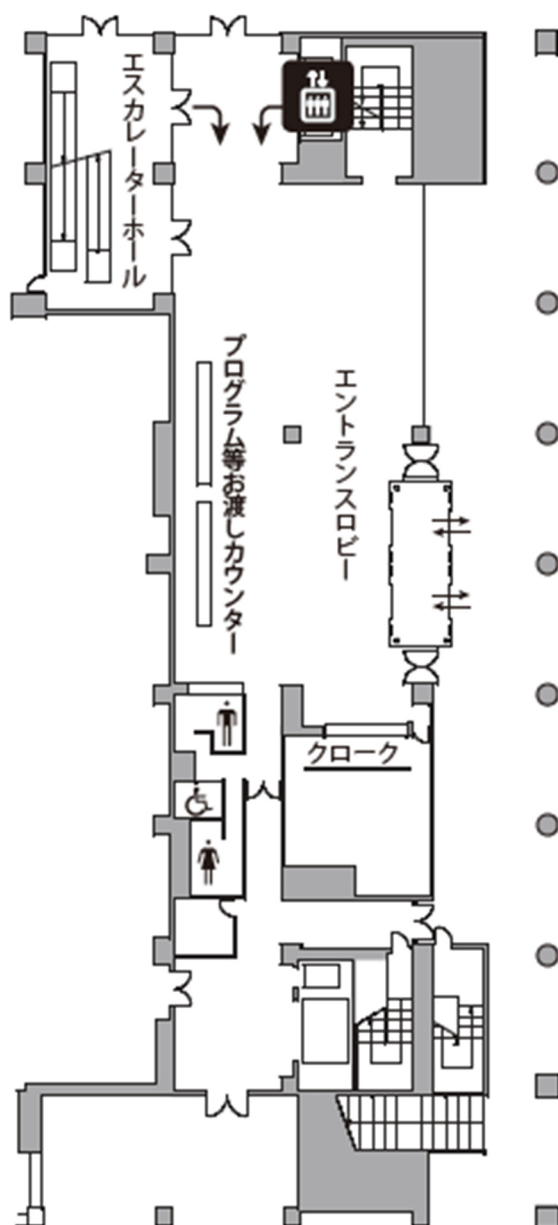
1 階	エントランスロビー	プログラム・参加章ホルダー等お渡し クローク
2 階	21 会議室	休憩室
	22 会議室	第 1 日 会員企画シンポジウム JB05・JC05 第 2 日・第 3 日 休憩室
3 階	ロビー	総合受付 発表変更受付 各種問合せ 非会員シンポジスト受付 名誉会員・終身会員受付 ポスター発表受付
	31 会議室	ポスター発表 書籍等展示
	チェルシー I	会員企画シンポジウム JA01～JH01
	チェルシー II	会員企画シンポジウム JA02～JH02
4 階	41 会議室	学会企画講演 学会企画シンポジウム 1～6 学会企画チュートリアル・セミナー
	43 会議室	会員企画シンポジウム JA04～JH04
	44 会議室	休憩室
5 階	52 会議室	第 1 日・第 2 日 休憩室
	53 会議室	会員企画シンポジウム JA03～JH03

会場フロアマップ 1F

1F

アクトシティ浜松
コンgressセンターエントランスロビー

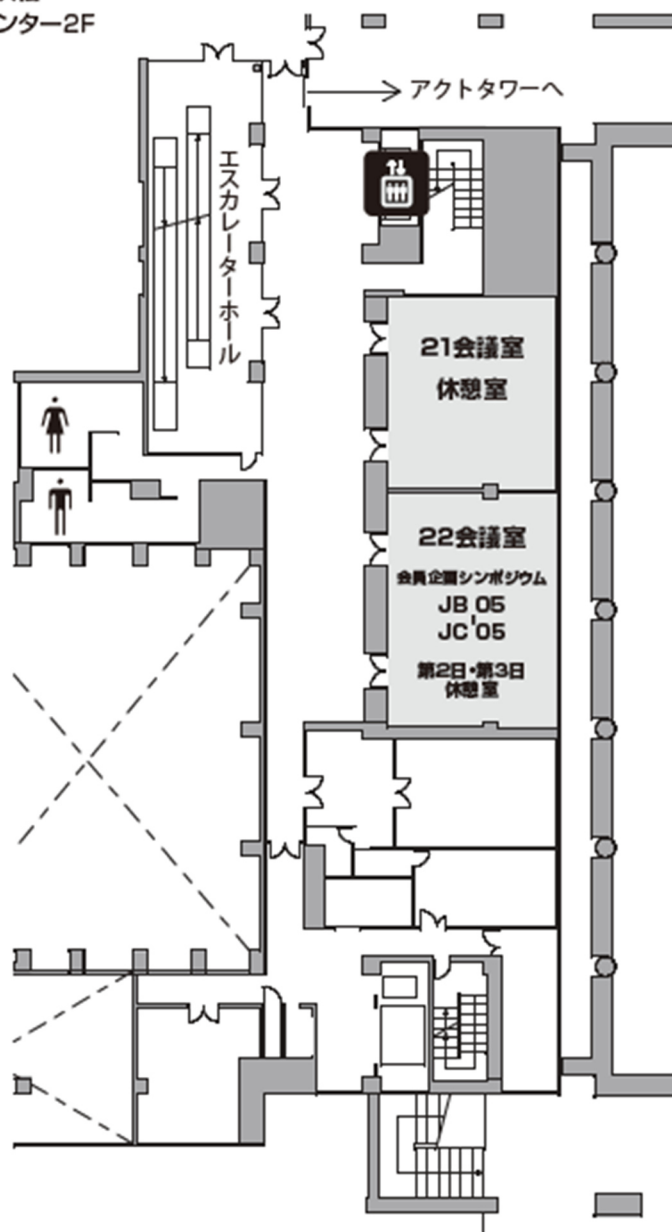
地下1階
財団事務室前
から上がる
(会場へのアクセス
のページ参照)



会場フロアマップ 2F

2F

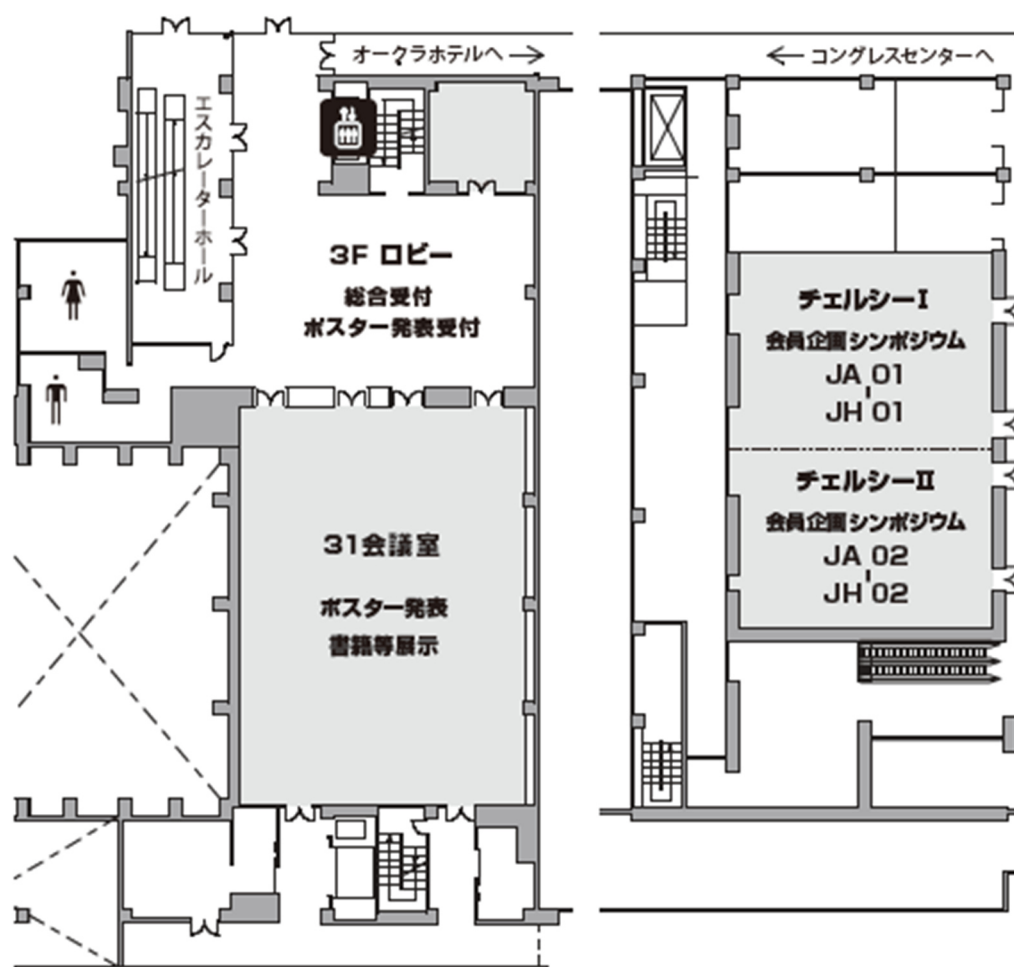
アクトシティ浜松
コンgressセンター2F



3F

アクトシティ浜松

コンgresセンター3F / オークラホテル3F

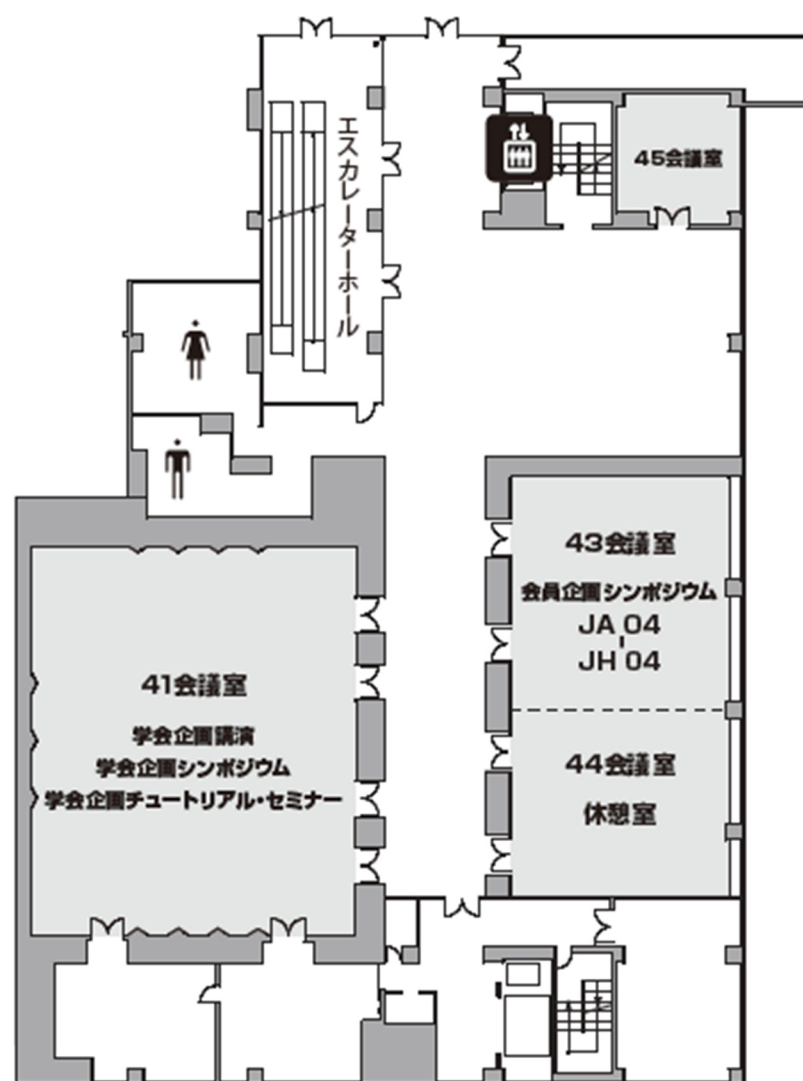


会場フロアマップ 4F

4F

アクトシティ浜松

コンgresセンター4F

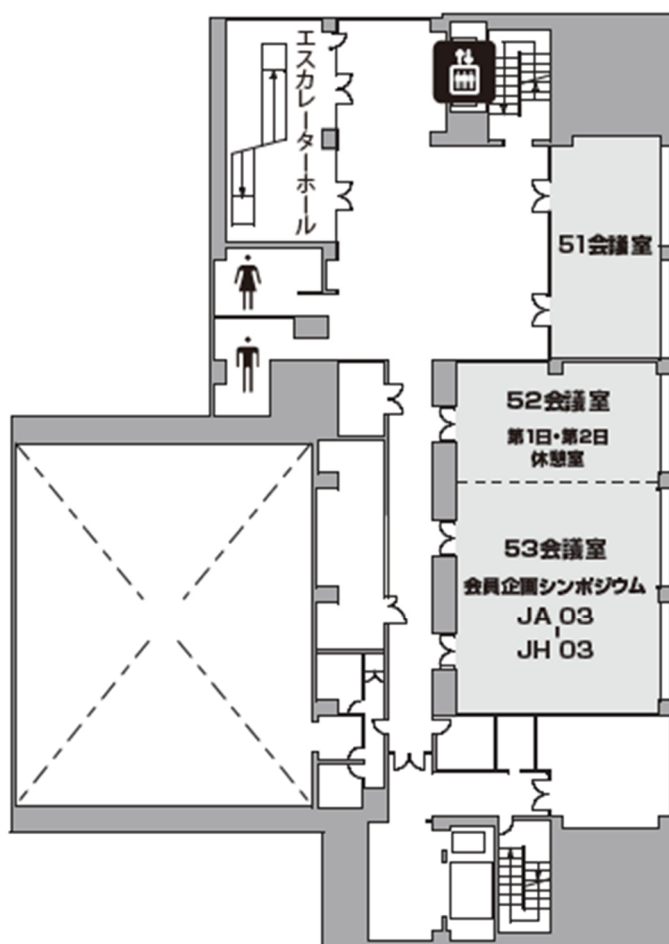


会場フロアマップ 5F

5F

アクトシティ浜松

コンgressセンター5F



参加者へのご案内

1. 参加申込み

参加される会員の方は、総会ホームページ

<https://www.edupsych.jp/2025-annual-meeting>

の「会員の方の参加申込み」ボタンより、事前にお申込みください。

会員でない方は総会ホームページの「会員でない方の参加申込み」ボタンより、また学部学生の方は「学部学生の方の参加申込み」ボタンより、事前にお申込みください。

2. 参加費のお振込み

お申込みいただいた方へは、振込先等を郵送またはメールでお知らせします。

参加費は事前にお振込みをお願いします。もし事前にお振込みができなかった場合は、浜松アクティシティ内郵便局も利用できます。

<総会参加費>

会員（一般）	11,000 円
会員（大学院生）	4,000 円
会員外（一般・大学院生）	12,000 円
学部学生	1,000 円

※ 会員外のポスター連名発表者が総会に参加される場合は、お振込み済みの会員外連名発表費と会員外参加費との差額 5,000 円で参加できます。

※ 会員外の会員企画シンポジウム登壇者が当該のシンポジウム以外で総会に参加される場合は、お振込み済みの会員外登壇者参加費と会員外参加費との差額 5,000 円で参加できます。

3. 参加章およびプログラム等引換券

参加費をお振込みいただいた方へは、参加章およびプログラム等引換券をメールでお送りします。

参加章およびプログラム等引換券をキリトリ線で切り離し、必ず会場にご持参ください。

4. 受付

受付は 9:00 より始めます。

1 階のエントランスロビーにて、ご持参いただいたプログラム等引換券を提出し、参加章ホルダーおよびプログラム等をお受け取りください。

ご持参いただいた参加章を参加章ホルダーに入れ、会場では必ずお付けください。

5. 会員外の会員企画シンポジウム登壇者で当該シンポジウムのみに参加される方は直接、3 階ロビーの総合受付にお越しください。

6. クローク

1 階エントランスロビーのクロークにて、荷物をお預かりいたします。預ける荷物には、貴重品を含めないようにお願いします。利用時間は以下の通りです。

<利用時間>

第 1 日 9:00～18:30

第 2 日 9:00～18:00

第 3 日 9:00～15:30

7. 休憩室

以下の部屋をご利用ください。

第 1 日 21 会議室, 44 会議室, 52 会議室

第 2 日 21 会議室, 22 会議室, 44 会議室, 52 会議室

第 3 日 21 会議室, 22 会議室, 44 会議室

8. インターネットの利用

会場の 2 階～5 階の各部屋とロビーで、フリーWi-Fi が利用できます。

9. 託児サービス（無料）

会期中、託児室を設けますので、どうぞご利用ください。

<利用時間>

第 1 日 9:30～18:30

第 2 日 9:00～18:00

第 3 日 9:00～15:30

ご利用希望の方は、10 月 1 日（水）までに学会事務局（office@edupsych.jp）へご連絡ください。折り返し、申込み書等をお送りします。

10. シンポジウム等の録音・録画

シンポジウム等の録音・録画については、著作権および肖像権の保護のため、司会者より録音・録画を許可する旨のアナウンスがある場合を除き、お控えください。

11. 連絡先

日本教育心理学会事務局

E-mail: office@edupsych.jp

Tel: 03-3818-1534 Mobile: 090-7907-0084

研究発表のご案内

ポスター発表

1. ポスター発表の会場は、3 階の 31 会議室です。
2. 「発達」、「教授・学習・認知」、「社会」、「人格」、「臨床」、「特別支援」、「学校心理学」、「測定・評価・研究法」の 8 部門で行います。
3. 責任発表者は、セッション開始 10 分前までに、ポスター発表会場入口前のポスター発表受付にお越しください。責任発表者を示すリボンをお渡しします。リボンはセッション終了後にポスター発表受付にご返却ください。
4. セッション開始 5 分前までに発表会場の指定された番号のパネルにポスターを貼ってください。
5. パネルの大きさは、横 90cm、縦 180cm です。ポスター最上部に発表題目、発表者の氏名、所属を大きく記載してください。
6. 文字の大きさに特に指定はありませんが、ポスターから離れた位置（約 2m）からでも読める大きさにしてください。
7. 割り当てられたセッション中（2 時間）ポスターを掲示し、かつ、ポスター番号が奇数の方は前半 1 時間、偶数の方は後半 1 時間の在席責任時間の間、質疑に応じるにより正式発表とみなします。在席責任時間以外もできるだけ在席して、質問等にご対応ください。なお、それぞれの在席責任時間中に、責任発表者の在・不在を確認します。
8. 責任発表者が欠席した場合、および在席責任時間中に在席の確認ができなかった場合は原則「発表取消」となります。ただし、連名発表者の会員がいる場合は、申請のうえ、連名発表者の会員 1 人を責任発表者に変更することができます。なお、責任発表者になるのは 1 人 1 回に限りますので、他の発表の責任発表者になっている方に変更することはできません。責任発表者の欠席、変更などについては、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該発表の 30 分前までに 3 階ロビーの総合受付にご連絡ください。
9. 配付資料がある場合は、必要部数を各自で事前にご用意ください。また、配付も各自でお願いします。
10. 掲示したポスターは、セッション終了後 10 分以内に外してください。次の発表予定者の準備時間を確保するために、終了後 10 分を経過しても掲示したままのポスターは取り外し、会期中にお申し出がなかった場合には処分しますのでご了承ください。

会員企画シンポジウム

1. 各会場にプロジェクターと HDMI ケーブルを用意します。パソコンは各自でご用意いただき、備え付けのプロジェクターに接続してください。
2. 配付資料は、各自で事前に印刷して配付するか、またはダウンロードできる URL をシンポジウム内で示すなどしてください。
3. 登壇者の欠席等については、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該シンポジウムの開始 30 分前までに 3 階ロビーの総合受付にご連絡ください。

総会日程 第1日 10月11日(土)

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00									
部屋名									
4階 41会議室		学会企画シン ポジウム1 授業を通じた 「学力」の変化 はどのようにと らえられるか		学会企画シン ポジウム2 心理学理論と 教育実践		学会企画シン ポジウム3 インクルーシブ な教育心理学に 向けて			
10:00 12:00 13:30 15:30 16:00 18:00									
3階 チェルシー I		JA01 俺のサンプルサ イズ設計がこん なに難しいわけ がない		JB01 若手の時から海 外の研究者や実 践家と一緒に仕 事をしよう！		JC01 チーム学校に基 づくいじめ対応 の今日的あり方 について			
3階 チェルシー II		JA02 学校における心 理教育プログラ ムの効果評価の 新展開		JB02 いじめの重大事 態に係る第三者 委員会の在り方 と今後の課題		JC02 新しい教育課程 と自己調整学習			
5階 53会議室		JA03 小中学校におけ る非認知能力ト レーニングの実 践と課題		JB03 援助要請スキル の発達過程の検 討		JC03 評定尺度から計 算される相関係 数のバイアス			
4階 43会議室		JA04 心理的安全性の 視点からみた不 登校傾向の児童 生徒支援		JB04 Learner- Orientedな 「CBTならでは 問題」の可能性 と諸課題		JC04 学校現場で役立 つ心理検査の実 施とそのフィー ドバックとは			
2階 22会議室				JB05 日本型教育の 挑戦と可能性		JC05 学校組織におけ るリーダーシッ プ研究の活性化 を目指して			
10:00 12:00 13:30 15:30 16:00 18:00									
3階 31会議室		ポスター発表 PA 書籍展示		ポスター発表 PB 書籍展示		ポスター発表 PC 書籍展示			

総会日程 第2日 10月12日(日)

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00									
部屋名									
4階 41会議室		学会企画シンポジウム4 通常学級において学習に困難を抱える子どもの自己調整を考える		学会企画シンポジウム5 心理テストはどこへ行く？		学会企画チュートリアル・セミナー RStudioによる分析と活用			
9:30 11:30 13:00 15:00 15:30 17:30									
3階 チェルシー I		JD01 テスト項目の作成と統計分析		JE01 いかにして習得サイクルの中で「学習の自己調整」を促すか		JF01 いじめの通報・相談・気付き・見守りのためのアプリと統合的データ解析の可能性			
3階 チェルシー II		JD02 教育委員会が中心となったSocial and Emotional Learningの展開と課題		JE02 集団の特徴を考慮した「SOSの出し方に関する教育」を軸としたストレスマネジメント教育の工夫と課題		JF02 授業を意味づける(9) 二項対立の社会科討論で概念的理解を図る授業者の試みに教育心理学者はどう応えるか			
5階 53会議室		JD03 COCOLOプランの科学的検討		JE03 ポジティブ生徒指導の動向(10)		JF03 指導力が危惧される小学校新任教員への支援の在り方			
4階 43会議室		JD04 学びを促すICTとは何か		JE04 今求められる教師支援とは？		JF04 現場と研究が共に創る感謝教育を目指して			
9:30 11:30 13:00 15:00 15:30 17:30									
3階 31会議室		ポスター発表 PD 書籍展示		ポスター発表 PE 書籍展示		ポスター発表 PF 書籍展示			

総会日程 第3日 10月13日(月・祝)

9:00										10:00										11:00										12:00										13:00										14:00										15:00										16:00										17:00										18:00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
部屋名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

第3日 10月13日(月・祝) 13:00～15:00

4階 41 会議室

非認知能力 ——教育は遺伝に勝てるのか?——

企画・司会	: 高橋雄介 (京都大学)
企画・司会	: 小塩真司 (早稲田大学)
講演	: 安藤寿康 (慶應義塾大学)
指定討論	: 中室牧子# (慶應義塾大学)
指定討論	: 森口佑介# (京都大学)
指定討論	: 山形伸二 (名古屋大学)

近年、個人差の形成における「非認知能力」およびその発達の基盤に対する関心が急速に高まっている。いわゆる非認知能力(学びに向かう態度、やり抜く力、自己制御、協調性など)は、学力や人生満足度、職業的成功といった多様なアウトカムと密接に関係することが多数の研究で示されており、国内外の教育実践や教育政策においても、その重要性が高まりつつある。本講演では、『教育は遺伝に勝てるのか?』および『能力はどのように遺伝するのか—「生まれつき」と「努力」のあいだ』などの著書を通じて、行動遺伝学の視点から、教育と能力形成の関係を鋭く問い直してきた安藤寿康氏(慶應義塾大学名誉教授)をお招きする。非認知能力の形成における遺伝的要因と環境的要因の相互作用に焦点を当てつつ、行動遺伝学の知見が教育的介入の可能性や限界をどのように照らし出すのかについて、ご講演をいただくとともに、参加者との議論を深めることを目的とする。安藤氏は、ご著書において、非認知能力の個人差のおよそ半分は遺伝で説明できることを示す双生児研究の成果を多数紹介しているが、これらの知見は、教育には意味がないという結論を導くものではない。むしろ、個性を尊重し、自己理解を促進する教育のあり方を考えるうえで、行動遺伝学のエビデンスがどのような貢献を果たしうるのかを示すものである。このような立場は、教育における可塑性や科学的根拠に基づく個別化教育支援の重要性とも深く共鳴する。より具体的には、本講演では、非認知能力がどのようなメカニズムで発達し、遺伝および環境要因がそれぞれどの程度関与するのか、行動遺伝学の知見は教育の可能性と限界にどのような視座を与えるのか、また、遺伝的個人差を前提とした上で、公教育においてどのように包摂的かつ実効性ある支援が実現されうるのか、といった論点を中心に検討を行う。さらに本企画では、教育経済学(中室牧子氏)、発達心理学(森口佑介氏)、パーソナリティ心理学(山形伸二氏)の各分野から専門家を招き、非認知能力の発達と教育実践に関する最新の知見と見解を持ち寄り、多角的な視座からの議論を展開する。本企画は、非認知能力という現代的なテーマをめぐる、教育と遺伝・環境の関係を科学的に捉え直す契機となるとともに、教育心理学的観点から、今後の教育実践や教育政策の立案への理論的・実証的貢献を目指すものである。

学会企画シンポジウム 1

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00

4階 41会議室

授業を通じた「学力」の変化はどのようにとらえられるか ——心理学的メカニズムに焦点をあてて——

企画・指定討論：藤村宣之（東京大学）

企画・司会：岡本真彦（大阪公立大学）

企画・指定討論：高橋雄介（京都大学）

企画：伊藤崇達（九州大学）

話題提供：工藤与志文（東北大学）

「知識構成水準モデル」から見た「学力」の変化
——「知識・技能」に関連して——

話題提供：橘 春菜（名古屋大学）

国語科授業における協同的探究学習を通じた生徒の説明
の変化

——「思考力・判断力・表現力」に関連して——

話題提供：中西良文（三重大学）

学びの過程を通して「学力」としての動機づけに働きか
ける

——「主体的に学習に取り組む態度」に関連して——

教育心理学や発達心理学の領域では、知識、思考、問題解決、理解、動機づけ、社会性などの様態や変化、規定因や促進要因など、幅広い意味で「学力」に関連する理論的・実証的研究が重ねられてきている。一方、学校教育では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」といった「学力の三要素」が教育実践を通して育むべき目標と位置づけられているが、各要素の内実や相互の関連性、形成過程などが必ずしも明確にされているとはいえないと考えられる。日本教育心理学会第65回総会のシンポジウム「学力」とは何か」では、教育心理学領域の実証的研究から、学力の「要素」やその形成過程が相互に密接に関連していることなどが明らかになった。第66回総会のシンポジウム「学力」はどう高まるか」では、授業を直接対象としない実証的研究も含めて、「学力」に関連する内容についての遂行が高まるプロセスなどを検討した。それらの議論をベースとしながら、本シンポジウムでは、授業を通じて一人ひとりの子どもの「学力」がどのように変化し、その変化はどのようにとらえられるかについて、教授・学習や発達に関する心理学的なプロセスやメカニズムとの関連で明らかにし、教育実践の課題について検討したい。

心理学理論と教育実践

——計算論的・個性記述的・社会文化的アプローチの観点から——

- 企画・司会：野崎優樹（甲南大学）
企画：栗田季佳（三重大学）
話題提供：赤松大輔（京都教育大学）
教育心理学と計算論的アプローチ
話題提供：平野真理（お茶の水女子大学）
レジリエンスの個別性の記述と測定にむけて
話題提供：楠見友輔（信州大学）
子どもの学習とは何か
——社会文化的アプローチから——
指定討論：齊藤 智（京都大学）

心理学が社会に貢献する方法として、直接的な応用研究に加え、理論を検証し発展させることで間接的に応用に結びつける在り方がある。しかし、教育心理学の理論を教育実践に活かす際には、様々な障壁も存在する。このような理論と実践の関係性は、長らく議論されてきたトピックであるが、近年、教育心理学における理論構築の在り方や、理論と実践との繋がりについて、新たな動向が見られる。本シンポジウムでは、このような教育心理学における理論構築と教育実践の結びつきについて、計算論的・個性記述的・社会文化的アプローチといった観点から、各話題提供者の専門テーマを具体例として最近の動向を紹介すると共に、今後の教育心理学研究の在り方について議論を深めたい。

インクルーシブな教育心理学に向けて ——排除と向き合う実践との対話——

企画・司会：栗田季佳（三重大学）

企画：野崎優樹（甲南大学）

話題提供：鮫島輝美（関西医科大学）

関係に基づく教育

——学びの場のデザイン——

話題提供：土肥いつき#（京都府立高校）

人権をどのように伝えるか

話題提供：三浦綾希子#（中京大学）

移民の子ども・若者の学びを支える

——学校とNPOのインクルーシブなとりくみとその課題——

指定討論：吉田寿夫（関西学院大学）

共生社会に向け、障害・性・国籍・民族・宗教などの違いを超えて、教育の人権の実現を目的とする、インクルーシブ教育の取り組みが国内外で進められている。昨年度総会において行われたインクルーシブ教育のシンポジウムでは、教育の中の差別や排除の実態が報告され、これらの問題に対する心理学の現状が共有された。本シンポジウムはその続編として、障害児、外国籍児童、セクシャル・マイノリティをめぐるインクルーシブな実践を学ぶ機会とする。話題提供者からの報告を踏まえ、人権や変化のプロセスといったインクルーシブ教育の考えを取り入れた、新たな教育心理学の形を共に考えたい。

通常学級において学習に困難を抱える子どもの自己調整を考える

企画・司会・話題提供：岡田 涼（香川大学）

学習に困難を抱える児童生徒の動機づけとその支援

企画・指定討論：伊藤崇達（九州大学）

話題提供：久坂哲也（岩手大学）

学習困難者に対するメタ認知的支援の在り方と課題

話題提供：涌井 恵（白百合女子大学）

学習困難を含む多様な児童生徒の学び方支援と授業の
構造

指定討論：海津亜希子（明治学院大学）

学校では多様な児童・生徒が共に学んでいる。特別支援学校や特別支援学級だけでなく、通常学級でも様々な学習面のニーズのある児童・生徒がいる。従来、学習面のニーズのある児童・生徒の指導や支援については、特別支援教育の視点から検討されてきた。一方、学習面での児童・生徒の理解や支援に関しては、動機づけやメタ認知など自己調整学習に関する理論的視点から研究が進められてきた。近年、学習面のニーズのある学習者に関して、自己調整学習の視点から捉えた研究も増えてきている。しかし、日本において、学習に困難を抱える子どもに対して自己調整学習の視点から捉えた研究は少なく、特に通常学級での支援に関しては、研究面でも実践面でも喫緊の課題の一つである。本シンポジウムでは、通常学級において学習に困難を抱える児童・生徒の学習をいかに理解し、支え得るかについて考える。動機づけやメタ認知などの自己調整学習に関する理論的立場から、今後の研究と教育実践の方向性を探る。

心理テストはどこへ行く？
——自己分析・集団診断テストの現状と課題——

- 企画・司会 : 澤田匡人 (学習院女子大学)
企画・司会 : 鈴木雅之 (横浜国立大学)
企画・話題提供 : 小塩真司 (早稲田大学)
無料性格診断の広がり と 課題
話題提供 : 大久保智生 (香川大学)
教育現場における集団診断テストへの誤解と活用方法
指定討論 : 村井潤一郎 (文京学院大学)
指定討論 : 荘島宏二郎 (独立行政法人 大学入試センター)

通俗的な心理テストやそれに類する自己分析が、科学的な根拠や適切な運用方法に基づかないまま利用される状況は後を絶たず、その広がりを懸念する声もある。特に近年は、一部の心理テストが採用人事や教育現場において、必ずしも適切とは言えない形で使用されるケースが相次いでいる。このように、「自己分析の道具」という限られた用途を超えて、「診断する」という目的だけが独り歩きすることは、人的資源を評価する局面において誤った判断を招きかねず、その影響は看過できない。そこで本シンポジウムでは、自己分析だけでなく、教育現場で使用される集団診断テストを含む心理テスト全般が、個人や社会に与える影響について改めて検討する。その際、心理テストが測定対象としている概念を適切に測定できているかという問題に留まらず、心理テストの歴史的経緯や使用実態についても議論する。自己分析や集団診断に用いられる心理テストの項目の妥当性や用途に対する誤解を整理し、そこから浮き彫りとなる課題を通じて、多角的な視点から心理テストの役割や意義を再考したい。

特別支援から ICT 教育をとらえなおす

企画・司会・話題提供：米田英嗣（青山学院大学）

自閉スペクトラム症者におけるオンラインコミュニティの
形成

企画・話題提供：谷口明子（東洋大学）

田代雅章 #（東京都立北特別支援学校）

佐藤吉昭 #（東京都立北特別支援学校）

病弱教育における ICT の活用

——協働的学びの実現に向けて——

企画・指定討論：別府 哲（岐阜大学）

話題提供：丹治敬之（筑波大学）

読み書き困難な子どもの個別最適な学びと ICT 活用

指定討論：益川弘如（青山学院大学）

2019 年に開始された GIGA「Global and Innovation Gateway for All」スクール構想によって、学校ネットワーク(校内 LAN)と 1 人 1 台に端末配布、緊急時における家庭でのオンライン教育が推進された。従来の特別支援教育において ICT 教育や遠隔教育の意義が強調されることはあったが、問題点を整理し、どのように改善していくかを議論する機会は多くはなかった。そこで、本企画では、特別支援教育における ICT の利活用に関する研究の利点と問題点を踏まえ、ICT 教育の今後について、特別支援教育の観点から、学習保障と新たな学びの創造を目指すための方法を考えたい。自閉スペクトラム症におけるオンラインコミュニティの形成、病弱教育における ICT 利用、読み書き困難のある子どもに対する ICT 活用といった研究事例の話題提供に基づき、最後に、学習科学および特別支援教育の視点から ICT 教育の今後の展開について指定討論をいただく。

学会企画チュートリアル・セミナー

第2日 10月12日（日）15:30～17:30

4階 41会議室

RStudio による分析と活用

企画・司会：宇佐美 慧（東京大学）

企画：鈴木雅之（横浜国立大学）

話題提供：山田剛史（横浜市立大学）

Rstudio と tidyverse パッケージの導入

話題提供：堀 一輝（熊本県立大学）

RStudio による分析と活用

——R Markdown をベースにして——

統計ソフト R および RStudio は高度な統計処理機能およびグラフィック機能を有しながら、オープンソースソフトウェアとして無料で利用できる。本チュートリアルでは、RStudio を用いた分析と活用について幅広く学ぶ機会を提供することを目的とする。より具体的には、RStudio の環境で利用できる、R コードと通常の文章を組み合わせた文書の作成と共有が可能になる R Markdown をベースに、データの読み取りや回帰分析等の基礎的な分析の実装、また tidyverse パッケージを用いたデータの整形や図の作成について説明する。R や RStudio の操作経験がない方は勿論、また一定の経験を有する方にとっても有意義な機会になると期待される。

会員企画シンポジウム

〈#印は会員以外の登壇者を示します〉

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00 3階 チェルシー I

JA01 俺のサンプルサイズ設計がこんなに難しいわけがない —より実効的な効果量とサンプルサイズの運用へ—

企画・司会	大正大学	井関龍太
話題提供	宮崎大学	中村大輝
話題提供	京都先端科学大学	行廣隆次
話題提供	東京大学	宇佐美 慧
企画	日本大学	望月正哉 #
企画	川崎医療福祉大学	山根嵩史

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00 3階 チェルシー II

JA02 学校における心理教育プログラムの効果評価の新展開 —非意識領域の潜在的な心理・行動特性を測定する動向から問う—

企画・話題提供	鳴門教育大学	山崎勝之
司会	桃山学院大学	永井明子
話題提供	信州大学	横嶋敬行
話題提供	中村学園大学	野口太輔
話題提供	鳴門教育大学	内田香奈子
指定討論	関西大学	村上祐介
指定討論	鳴門教育大学	田村隆宏

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00 5階 53会議室

JA03 小中学校における非認知能力トレーニングの実践と課題

企画・話題提供	NPO 法人 SKILLS カウンセリングセンター	飯島博之
話題提供	東京教育専門学校	吉田梨乃
話題提供	福岡女学院大学	斎藤富由起
指定討論	福岡女学院大学大学院	八谷 栞
指定討論	淑徳大学	守谷賢二
司会	大阪府スクールカウンセラー	椋橋由衣

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00 4階 43会議室

**JA04 心理的安全性の視点からみた不登校傾向の児童生徒支援
—教育心理実践としてのポリヴェーガル理論の応用—**

企画・司会・話題提供	桜美林大学	山口真佐子
話題提供	公立中学校スクールカウンセラー	藤本明子 #
話題提供	八王子市立南大沢小学校	三崎恵美 #
指定討論	カウンセリングオフィス成子城・城西国際大学学生相談室	道家木綿子 #

第1日 10月11日(土) 13:30~15:30 3階 チェルシー I

**JB01 若手の時から海外の研究者や実践家と一緒に仕事をしよう！
—事例に学ぶ必要なスキルやメンタリティーとは？—**

企画・司会・話題提供	東京大学	植阪友理
企画・話題提供	京都大学	マナロ エマニエル
話題提供	東京科学大学	柴 里実
話題提供	慶應義塾大学	劉 夢思

第1日 10月11日(土) 13:30~15:30 3階 チェルシー II

JB02 いじめの重大事態に係る第三者委員会の在り方と今後の課題

企画・司会	香川大学	金網知征
企画	大阪教育大学	戸田有一
話題提供	高知大学	岡谷英明 #
話題提供	神戸親和大学	吉田圭吾
話題提供	東京大学	山岡あゆち
指定討論	北海道大学	加藤弘通
指定討論	池坊短期大学	桶谷 守 #

第1日 10月11日(土) 13:30~15:30 5階 53会議室

JB03 援助要請スキルの発達過程の検討

企画・司会・話題提供	北海道教育大学函館校	本田真大
話題提供	中京学院大学	江畑慎吾
話題提供	明治学院大学	杉岡千宏
指定討論	大阪教育大学	水野治久
指定討論	愛知教育大学	酒井麻紀子

JB04 Learner-Oriented な「CBT ならではの問題」の可能性と諸課題

企画・司会	ベネッセ教育総合研究所	加藤健太郎
話題提供	ベネッセ教育総合研究所	渡邊智也
話題提供	ベネッセ教育総合研究所	北條大樹
指定討論	東京学芸大学	太田絵梨子
指定討論	国立情報学研究所	孫 媛

**JB05 日本型教育の挑戦と可能性
—バングラデシュとの対話から考える国際教育協力—**

企画・司会・話題提供	名古屋大学	松本みゆき
話題提供	中部大学	伊藤佐奈美
話題提供	岡崎女子大学	長谷守紘
話題提供	中部大学	本多祐子 #
指定討論	北陸大学	東岡達也 #

**JC01 チーム学校に基づくいじめ対応の今日的あり方について
—児童生徒に任せず教師が連携して行うべきこと—**

企画・話題提供	九州女子短期大学	佐野和規
司会・話題提供	九州情報大学	鈴木和也 #
話題提供	山梨県立甲府昭和高等学校	小野田なおみ #
話題提供	近未来教育変革研究所	藤井秀一 #

**JC02 新しい教育課程と自己調整学習
—探究・自由進度・授業時間数柔軟化等でのありがちな誤解と注意点—**

企画・司会	名古屋大学	中谷素之
企画・話題提供	学習院大学	篠ヶ谷圭太
企画・指定討論	東京学芸大学	犬塚美輪
話題提供	桃山学院大学	木村明憲
話題提供	御前崎市立浜岡中学校	栗林 溪 #

**JC03 評定尺度から計算される相関係数のバイアス
—傾向と対策と助言—**

企画・司会・話題提供	早稲田大学	椎名乾平
話題提供	東京未来大学	大内善広
企画・話題提供	愛知学院大学	小野島昂洋
話題提供	文教大学	山本琢俣
指定討論	東北大学	久保沙織

**JC04 学校現場で役立つ心理検査の実施とそのフィードバックとは
—スクールカウンセラー，通級，学校の立場から意見交流を通して検討する—**

企画	大阪経済大学	土井裕貴	
司会	岡山大学	稲月聡子	#
指定討論	兵庫教育大学	隈元みちる	#
話題提供	愛知県・三重県スクールカウンセラー，至学館大学（学生相談室）	河野貴和子	#
話題提供	愛知県美浜自然の家	山本有治	#
話題提供	愛知県中学校通級指導担当教員	石川愛子	#

JC05 学校組織におけるリーダーシップ研究の活性化を目指して

企画・話題提供	就実大学	鎌田雅史	
企画・司会・話題提供	岡山大学	三沢 良	
話題提供	九州共立大学	迫田裕子	
話題提供	筑波大学	朝倉雅史	#
指定討論	愛知教育大学	弓削洋子	

JD01 テスト項目の作成と統計分析
—多枝選択式・記述式と認知診断—

企画・司会	大学入試センター	寺尾尚大	
企画・話題提供	名古屋大学	石井秀宗	
話題提供	文教大学	安井彩乃	
話題提供	岡山大学	安永和央	
話題提供	東京大学／日本学術振興会	佐宗 駿	#
指定討論	青山学院大学	益川弘如	

JD02 教育委員会が中心となった Social and Emotional Learning の展開と課題
—都道府県・政令市での取組を中心として—

企画・話題提供	静岡大学	小林朋子	
企画・話題提供	福岡教育大学	小泉令三	
司会	埼玉学園大学	藤枝静暁	
指定討論	東京情報大学	原田恵理子	
話題提供	近畿大学	大対香奈子	#
話題提供	静岡県教育委員会	監物克敏	#
話題提供	静岡県教育委員会	石塚洋行	#
指定討論	静岡大学	島田桂吾	#

JD03 COCOLO プランの科学的検討
—不登校支援の新たなデザインと実践におけるエビデンスとは—

企画・司会・話題提供	公益社団法人 子どもの発達科学研究所	和久田 学	
話題提供	大阪大学	西村倫子	
話題提供	明治学院大学	足立匡基	
話題提供	品川区教育委員会	丸谷大輔	#
指定討論	美濃加茂市	丸山克彦	#

**JD04 学びを促す ICT とは何か
—教育心理学的支援と授業構成の可能性—**

企画・話題提供	会津大学	河村昭博
司会・話題提供	帝京平成大学	齊藤 勝
話題提供	共立女子大学	井口武俊
話題提供	東京家政学院大学	末松加奈
指定討論	帝京平成大学	奥井智一郎

第2日 10月12日(日) 13:00~15:00 3階 チェルシー I

JE01 いかにして習得サイクルの中で「学習の自己調整」を促すか

企画・話題提供	学習院大学	篠ヶ谷圭太
司会	東京大学	市川伸一
話題提供	山梨大学	小野田亮介
話題提供	東京学芸大学	太田絵梨子
指定討論	香川大学	岡田 涼

第2日 10月12日(日) 13:00~15:00 3階 チェルシー II

JE02 集団の特徴を考慮した「SOS の出し方に関する教育」を軸としたストレスマネジメント教育の工夫と課題

企画・指定討論	早稲田大学	嶋田洋徳
企画・司会・話題提供	桜美林大学	小関俊祐
話題提供	浜松市教育委員会	成田めぐみ
話題提供	東京都立稔ヶ丘高等学校	滝澤 賢 #
話題提供	岩手大学	杉山智風
指定討論	早稲田大学	桂川泰典

JE03 ポジティブ生徒指導の動向 (10)
—不登校への階層的支援モデル (PISSA 方式) に関する実践について—

企画	南山大学	市川 哲
企画	南山大学	宇田 光
企画・司会	大阪産業大学	西口利文
話題提供	ポジティブ生徒指導・PISSA 研究会	有門秀記
話題提供	安曇野市立豊科北小学校	工藤 弘
話題提供	東京学芸大学	松山康成
話題提供	阿南工業高等専門学校	福井龍太 #
話題提供	立命館大学大学院	森本晃介
指定討論	福岡教育大学	中島義実
指定討論	愛知教育大学	五十嵐哲也

JE04 今求められる教師支援とは？
—派遣教員からの提言—

企画・話題提供	羽生市立羽生南小学校	春日智稀
企画・話題提供	白岡市立篠津小学校	越 佑喜
話題提供	川口短期大学	一色 翼
指定討論	埼玉大学	中井大介
指定討論	埼玉大学	堀田香織

JF01 いじめの通報・相談・気付き・見守りのためのアプリと統合的データ解析の可能性

企画・司会・話題提供	大阪教育大学	戸田有一
企画・指定討論	香川大学	金網知征
話題提供	(株) マモル	隈 有子 #
話題提供	奈良県立教育研究所	山本博樹 #
話題提供	大阪教育大学	高見享佑 #

第2日 10月12日(日) 15:30~17:30 3階 チェルシーⅡ

JF02 授業を意味づける(9)二項対立の社会科討論で概念的理解を図る授業者の試みに教育心理学者はどう応えるか

企画・司会・話題提供	静岡大学	町 岳
企画・話題提供	学習院大学	秋田喜代美
企画・話題提供	慶應義塾大学	鹿毛雅治
話題提供	静岡市立蒲原東小学校	柴田和樹 #

第2日 10月12日(日) 15:30~17:30 5階 53会議室

**JF03 指導力が危惧される小学校新任教員への支援の在り方
—職場適応と職務適応の視点から—**

企画・司会	早稲田大学	生貝博子
指定討論	早稲田大学	河村茂雄
話題提供	金沢星稜大学	森永秀典
話題提供	帝京平成大学	齊藤 勝
話題提供	共立女子大学	井口武俊
話題提供	早稲田大学大学院	富永香羊子

第2日 10月12日(日) 15:30~17:30 4階 43会議室

JF04 現場と研究が共に創る感謝教育を目指して

企画・話題提供	武蔵野大学	吉野優香
話題提供	埼玉学園大学	藤枝静暁
話題提供	星美学園短期大学	竹森亜美
指定討論	筑波大学	菅原大地 #

JG01 文系学生に対する心理統計教育
—授業、卒論指導・査読で気になる統計解析—

企画・司会	横浜市立大学	山田剛史
企画	文京学院大学	村井潤一郎
企画	早稲田大学	杉澤武俊
企画・話題提供	青山学院大学	寺尾 敦
話題提供	岡山大学	安永和央
話題提供	文教大学	安井彩乃
指定討論	法政大学	服部 環

JG02 学校における協働実践研究の変革可能性 (2)
—実践と研究を融合した第3の道を探る—

企画・話題提供	福井大学	木村 優	
企画・話題提供	福井大学	岸野麻衣	
司会・話題提供	福井大学	山浦光雄	#
話題提供	福井大学教育学部附属義務教育学校	川崎耕介	#
話題提供	福井県立坂井高等学校	永田卓裕	#
指定討論	国立教育政策研究所	白水 始	
指定討論	慶應義塾大学	鹿毛雅治	

JG03 日本における感謝研究の動向と展望 (2)
—青年期の感謝の特徴—

企画・話題提供	新潟県立大学	藤原健志
話題提供	武蔵野大学	吉野優香
企画・話題提供	和洋女子大学	池田幸恭
企画・司会・指定討論	立正大学	村上達也

JG04 自尊心を高めることの社会的効果についての再検討

企画・話題提供	大阪公立大学	橋本博文	
企画・話題提供	立教大学	前田 楓	
司会・話題提供	久留米大学	佐藤剛介	#
指定討論	東京大学	山口 勸	

第3日 10月13日(月・祝) 13:00~15:00 3階 チェルシー I

JH01 中学・高校・大学生のデータサイエンスリテラシーを育てる

企画・指定討論	東京大学	藤村宣之
企画・話題提供	名古屋大学	橘 春菜
企画・司会	群馬大学	鈴木 豪
企画	埼玉学園大学	石橋優美
話題提供	名古屋大学	石井秀宗
話題提供	東京大学大学院	後藤慎弥
指定討論	京都大学	楠見 孝

第3日 10月13日(月・祝) 13:00~15:00 3階 チェルシー II

JH02 小・中学生の自由研究支援を教育心理学と科学教育の視点から議論する

企画・司会・話題提供	大阪大学	後藤崇志	
話題提供	名古屋大学	田中英津子	
話題提供	滋賀大学	加納 圭	#
話題提供	NHK エデュケーショナル	竹内慎一	#

第3日 10月13日(月・祝) 13:00~15:00 5階 53会議室

JH03 保育者効力感と保育実践の相違をどのように学びに変えるか

企画・話題提供	東京教育専門学校	吉田梨乃	
企画・話題提供	大阪成蹊大学	片岡章彦	
話題提供	淑徳大学	守谷賢二	
指定討論	福岡女学院大学	斎藤富由起	
指定討論	千里金蘭大学	小野 淳	
指定討論	福岡女学院大学大学院	徳澄 晶	#
司会	大阪府スクールカウンセラー	椋橋由衣	

JH04 探究学習における教師の困りごととはどのようなものか

企画・司会	福山平成大学	藤江浩子	
指定討論	元関西福祉大学大学院	金沢 緑	#
話題提供	千葉大学	小山義徳	
話題提供	福山平成大学	阿部直紀	#
話題提供	犬山市立楽田小学校	古市博之	#
話題提供	安田小学校	村中政文	#

会員
10/11

会員
10/12

会員
10/13

PA
10/11

PB
10/11

PC
10/11

PD
10/12

PE
10/12

PF
10/12

PG
10/13

PH
10/13

ポスター発表

〈○印は責任発表者、#印は会員以外の連名発表者を示します〉

ポスター発表 A

第1日 10月11日(土) 10:00~12:00 3階 31会議室
 在席責任時間 奇数番号 10:00~11:00 偶数番号 11:00~12:00

発達

- | | | | |
|------|---|----------------------------|--------------------------|
| PA01 | 中学生の子どもに対する親の葛藤解決行動の構造 | 名古屋大学 | 平石賢二 |
| PA02 | 大学生のキャリア意識を構成する要因の検討
—インタビューによる調査結果から— | 神戸大学大学院
神戸大学 | ○原 瑞穂
加藤佳子 |
| PA03 | 現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明 (4)
—虐待傾向得点, 育児感情, 育児環境に注目して— | 埼玉学園大学
埼玉学園大学
埼玉県立大学 | ○藤枝静暁
増南太志
森田満理子 # |
| PA04 | 現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明 (5)
—虐待傾向得点ごとの子育てに関する相談内容及び利用しやすい相談方法— | 埼玉学園大学
埼玉学園大学
東京家政大学 | ○増南太志
藤枝静暁
堀 科 # |
| PA05 | スマートフォン, およびゲームの過剰使用と一般性自己効力感との関係 | 関西福祉科学大学 | 宇恵 弘 |
| PA06 | 大学生の楽観性による話しかけスキルの違い | 大分県立芸術文化短期大学 | 藤田 文 |
| PA07 | 乳幼児を持つ親の子育て生活におけるズレとその調整 | 文京学院大学 | 石 暁玲 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|------|---|---|--------------------------------|
| PA08 | 偶発記憶における自己選択効果と未来志向の個人差 | 追手門学院大学 | 豊田弘司 |
| PA09 | 他者との学びにおけるエンゲージメントについて
(1) 対教員 | 京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学
同志社女子大学 | ○松島るみ
尾崎仁美
中村 愛 |
| PA10 | 他者との学びにおけるエンゲージメントについて
(2) 対受講生 | 京都ノートルダム女子大学
京都ノートルダム女子大学
同志社女子大学 | ○尾崎仁美
松島るみ
中村 愛 |
| PA11 | 絵本の読み聞かせにおけるマイクロティーチングの効果 (5)
—保育科学生と現職者を対象にした実地指導技術の比較— | 埼玉純真短期大学
鎌倉女子大学
植草学園大学
国士舘大学 | ○金子智栄子
金子智昭
金子功一
清水優菜 |
| PA12 | 経営者の成長・発達に関する研究
—経営者育成に関する歴史と課題— | 長崎大学大学院 | 小林小夜子 |
| PA13 | 小学校における知性と感性を結ぶ俳句教育プログラム開発の試み | 鳴門教育大学 | 皆川直凡 |

PA14	繰り下がりがある一桁ひき算の減数と答の影響	北海学園大学	後藤 聡
PA15	大学生の「ほめ」の好み —学年差・性差の検討—	愛知教育大学	小嶋佳子
PA16	ICT 活用授業設計における NPS と Big Five 特性を用いた自己実践の振り返り —Net Promoter Score (NPS) 型授業評価と性格特性を手がかりとした教育実践改善の試み—	会津大学	河村昭博
PA17	授業アンケートについての生成 AI とのやり取りが教員の授業づくりに関する思考の整理に与える影響	東京学芸大学大学院	藤森裕紀
PA18	保育・幼児教育における個人マークの実態 —子どものジェンダーによる保育者の選択に着目して—	お茶の水女子大学	辻谷真知子
PA19	看護学生が実習適応感に大切と考える学校側・施設側の実習オリエンテーション	大手前大学 関西大学	○コウ ケイホウ 脇田貴文
PA20	高等学校理科授業における質問づくりの効果の検証(2) —生徒がつくる質問の質的变化の縦断的検討—	神奈川県立生田高等学校	志村拓弥
PA21	高校野球指導者の指導行動タイプによる選手との関連についての検討 —指導者による認知に着目して—	早稲田大学大学院 東京福祉大学 早稲田大学	○森 大 河村明和 河村茂雄
PA22	盲学校高等部化学基礎における学習法に関する信念の変容 —計量テキスト分析を用いて—	東京都立文京盲学校	小池貴之
PA23	調理実習における創造性の検討	東京福祉大学	石橋和子
PA24	企業における英語が苦手な社員向けトークサロンの試行	学習院大学大学院	中島健介

社会

PA25	中学生による防犯アプリを活用した防犯教育の実践 —小学生を対象とした防犯教室の実施とその効果検証—	香川大学 北海道大学大学院・日本学術振興会	○大久保智生 鈴木修斗
PA26	大学生の話し合い活動の有益性の認知に関連する要因の探索 —授業内での話し合いの振り返りデータをもとにした検討—	福岡教育大学	植村善太郎
PA27	援助者の探求過程 (10) —逆境的小児体験と Dark Triad が一般他者に対する愛着スタイルに与える影響—	奈良大学	太田 仁
PA28	性の多様性を尊重した保育に対する保育者の認識	帝京大学	平沼晶子
PA29	オンライン調査と紙筆式調査における等価性の検討 —中学生の向社会的動機づけについて—	文教大学 愛知学院大学	○山本琢俣 小野島昂洋

人格

- PA30 教師の Grit と心理的安全性についての検討
—教科指導への影響— 木更津市立請西小学校 〇山本裕貴
東京学芸大学大学院 五十嵐健一
- PA31 大学生の自尊感情と被援助志向性との関連
—自己志向的完全主義の調整効果に着目して— 大阪大学大学院 〇檜崎結大
大阪大学 直原康光

臨床

- PA32 環境移行としての大学入学における新入生の心の健康
—インタビューと描画を用いた縦断的研究— 九州大学大学院 〇園田詩歩
九州大学大学院 佐々木玲仁 #
- PA33 大学生はいじめ被害からの回復をどう捉えているのか 北海道大学大学院 阿部真子
- PA34 自閉スペクトラム特性を有する青年の自立を構成する適応行動および精神的健康に影響を与える要因
—「仕事／学業」「友人」「家族」「余暇」の領域における価値に沿ったコミットメントの観点から— 東京学芸大学 〇守部 碧
早稲田大学 大月 友 #
早稲田大学 桂川泰典

特別支援

- PA35 小学校における合理的配慮の提供状況とその影響要因の検討 東京都板橋区立中台小学校 〇赤池睦子
筑波大学 飯田順子
- PA36 小学校の情緒障害学級の機能と課題に関する研究 千葉県スクールカウンセラー 〇小沢由美子
筑波大学 飯田順子
- PA37 接触経験と知識が発達障害者への偏見、イメージ、援助意識に及ぼす影響 岡山大学大学院 〇八方涼葉
岡山大学 松前直朗 #
岡山大学大学院 平賀未紗 #
岡山大学 住岡恭子

学校心理学

- PA38 協働的コンサルテーション概念からみた日本型スクールカウンセリング実践の特徴
—外部性と内部性を踏まえた検討— 学習院大学 伊藤重矢子
- PA39 居場所カフェに関する学校司書・司書教諭の意識調査
—高校教員との比較検討— 神田外語大学 〇武田明典
一般社団法人麻布教育ラボ 村瀬公胤
- PA40 卒業直前での教員養成課程学生の教職レジリエンスに関する研究 (2)
—教員就職群と非教員就職群との差ならびに性差の検討— 宇都宮大学 川原誠司

PA41	子どもに対する指導方略の認知及び使用と関連する 個人要因の検討 (1) —教師のメタ認知、教師自己効力感、共感性との関 連に焦点を当てて—	県立広島大学 茨城県立医療大学 山形大学	○向居 暁 佐藤 純 廣田信一	
PA42	子どもに対する指導方略の認知及び使用と関連する 個人要因の検討 (2) —認知尺度の改訂ならびにバーンアウトとの関連に 焦点を当てて—	茨城県立医療大学 県立広島大学 山形大学	○佐藤 純 向居 暁 廣田信一	
PA43	中学校における「強み」の授業が自他の強みへの注 目と自己理解・他者理解に及ぼす影響 —交差遅延効果モデルを用いた検討—	愛知教育大学 愛知教育大学 みよし市立南中学校 愛知教育大学	○石田靖彦 鈴木美樹江 松本賢治 鈴木伸子	#
PA44	「教員間いじめ」の目撃・対応頻度と道徳不活性化 との関連 —校長・他教員および自分自身の道徳不活性化に着 目した検討—	奈良教育大学	出口拓彦	
PA45	能登半島地震発災直後における教員のメンタルケア 研修の長期的な有効性の検討 —ウェルビーイングに着目したアンケート調査—	金沢工業大学 NTT 株式会社 NTT 株式会社	○平 真由子 横山実紀 渡邊淳司	# #
PA46	SC の働き方、引き継ぎの困難さ、そして学校コミュ ニティへの影響 —自由記述内容の内容分析を中心とした中間報告—	専修大学大学院 令和7年度東京都公立学校スクールカウンセラー	○吉田光成 渡辺葉月	#
PA47	新採用教員に対して行った1年間の初任者指導の成 果についての検討 —自主・向上性と内発的モチベーションに注目し て—	早稲田大学大学院 早稲田大学	○山本卓也 河村茂雄	
PA48	大学生の造形に対する苦手意識の構造について	豊岡短期大学	大塚貴之	
PA49	中学校移行後の不登校傾向と学校生活要因の関連性 の時間的変動	秋田大学 スタンドバイ株式会社 常葉大学 北星学園大学 北海道大学大学院 北海道大学	○Hou Yuejiang 谷山大三郎 太田正義 村井史香 佐藤奈月 加藤弘通	#
PA50	公立小中学校教員のワーク・エンゲイジメント —60代の教員組織所属意識に注目して—	早稲田大学 早稲田大学	○生貝博子 河村茂雄	
PA51	不登校の高校生の社会的自立を促す取組の研究 —居場所支援の活動を通して—	神奈川県立総合教育センター 神奈川県立総合教育センター 神奈川県立総合教育センター	○乾 仁美 内山慶子 長岡幸司	#
PA52	高校生における HSP 傾向と友人とのかかわり方	兵庫県立西宮今津高等学校 兵庫教育大学	○石川嘉恵 細谷里香	
PA53	定時制高校生の学校生活に関する認知と学校適応感 との関連	神戸学院大学大学院 神戸学院大学	○四元照道 道城裕貴	

測定・評価・研究法

PA54	CEFR に基づく英語運用能力自己評定データの項目 反応モデリング	京都大学	大澤公一	
------	--------------------------------------	------	------	--

会員	10 / 11
会員	10 / 12
会員	10 / 13
PA	10 / 11
PB	10 / 11
PC	10 / 11
PD	10 / 12
PE	10 / 12
PF	10 / 12
PG	10 / 13
PH	10 / 13

ポスター発表 B

第 1 日 10月11日(土) 13:30~15:30 3階 31会議室
在席責任時間 奇数番号 13:30~14:30 偶数番号 14:30~15:30

発表

- | | | | |
|------|--|---|---------------------------------------|
| PB01 | 幼児教育における自尊感情の検討 (1)
—5歳児の罪悪感に着目して— | 宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園 | ○石川隆行
宮代こずゑ
長谷川万由美 #
磯 裕子 # |
| PB02 | 幼児教育における自尊感情の検討 (2)
—5歳児の保護者の余暇活動に着目して— | 宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園 | ○宮代こずゑ
石川隆行
長谷川万由美 #
宇賀神由美 # |
| PB03 | 制御適合は幼児のパフォーマンスを高めるか？
—制御焦点傾向からの再検証— | 新潟国際情報大学
慶應義塾大学 | ○佐々木宏之
林 洋一郎 # |
| PB04 | 社会が求める理想像の多様性が高校生の自己意識と
心理的適応に及ぼす影響
—公的自己意識・私的自己意識に着目して— | 埼玉学園大学大学院
埼玉学園大学
埼玉学園大学 | ○近藤絢美
石橋優美
増南太志 |
| PB05 | 中学生が認知する母親の養育態度と母親に対する自
己開示との関連
—母子相互信頼感を媒介として— | 皇学館大学
名古屋大学 | ○渡邊賢二
平石賢二 |
| PB06 | 高学年児童の話し合いにおける自他の感情的視点を
ふまえた意見調整 | 千葉大学 | 岩田美保 |
| PB07 | セルフコントロール方略の親子間類似性
—小中学生とその親を対象とした親子調査による検
討— | 大阪大学 | 後藤崇志 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|------|--|-------------------------------|-----------------------|
| PB08 | 「事例に関する予測に使えないルール」の学習はな
ぜ生じるのか | 東北大学
東北大学 | ○工藤与志文
佐藤誠子 |
| PB09 | 高齢者群の痛みのオノマトベ検討における選択基準
変更の試み | 金城大学 | 奥田裕紀 |
| PB10 | 中学国語授業におけるメタ認知的指導と自己調整学
習の実践 (2)
—論説文の読解・批判における読解方略の獲得と課
題価値との関連— | 北海道教育大学
札幌市立信濃中学校 | ○吉野 巖
藤倉大志 |
| PB11 | 入学後の高1に対する接続詞注目方略の形成支援が
構造方略使用と説明文理解ならびに教科理解に及ぼ
す影響 (2)
—構造方略の媒介欠如者でみられた影響過程— | 立命館大学
立命館大学大学院
京都府立医科大学 | ○山本博樹
王 語非
村上嵩至 |
| PB12 | 中学校における教育実習指導を通じた実習指導教員
の学び
—教科担当と学級担当についての語りの比較から— | 福島大学
東京大学
岡山大学 | ○坂本篤史
一柳智紀
三島知剛 |

PB13	認知診断モデルの360度フィードバックへの応用と実践 —個別最適な行動改善レコメンの試み—	株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 東京大学大学院・日本学術振興会	○坂本佑太郎 山田 香 # 肖 雨知 # 佐宗 駿 #	会員 10/ 11
PB14	数学授業における異なる提示文脈に対する中学生の確率判断の様相の違い —仮説検定の考え方に着目して—	東京大学大学院	後藤慎弥	会員 10/ 12
PB15	小中学生における数学的思考の縦断的变化と学習観の関わり	東京大学 東京大学大学院 東京大学大学院 東京大学大学院	○藤村宣之 後藤慎弥 吉田知世 青柳尚朗	会員 10/ 13
PB16	社会人の日常場面对象とした KJ 法に基づくメモ 取り行動の調査 —大学生との比較—	愛知大学 立命館大学 香川大学	○吉岡昌子 藤 健一 # 佐藤敬子 #	PA 10/ 11
PB17	予習や復習に関する教師の指導行動とその規定要因の検討	学習院大学 帝京大学	○篠ヶ谷圭太 木澤利英子	PB 10/ 11
PB18	キャリア科目におけるアントレプレナーシップ育成を 目的とした教材開発 —起業家インタビュー動画に対する受講者の認識—	福岡工業大学	中野美香	PC 10/ 11
PB19	受講形態の違いによる成績差を生み出す要因の考 察 —ハイフレックス授業における実践を基に—	北海道大学	山本堅一	PD 10/ 12
PB20	日本の EFL (外国語としての英語) 環境における日 本人会社員の達成目標と深い学習		ラインドル チャールズ	PE 10/ 12
PB21	課題の一部への着手の促しが先延ばしに及ぼす効果 —課題の遂行に対する主観的評価に着目した検討—	東京大学大学院 東京大学	○関 大也 清河幸子	PF 10/ 12
PB22	読解信念による要約スタイルの違い —日本語学習者2名の比較—	中央学院大学 神田外語大学	○山方純子 李 榮	PG 10/ 13
PB23	日本語学習者の自律的動機づけに関する一考察 —取り入れ的調整と外的調整に注目して—	流通科学大学 関西大学大学院	○山本晃彦 音成佐矢子	PH 10/ 13
社会				
PB24	「好意的性差別発言」が男・女学生に及ぼす悪影響 —採用面接場面のシナリオを用いた検討 (2) —	成城大学	村田光二	
PB25	子育て世帯の共生を目指した母親のニーズ調査 (1) —母親は夫に何を期待するか—	広島大学 就実短期大学 岡山大学 就実大学	○伊藤 優 六車美加 三沢 良 鎌田雅史	
PB26	子育て世帯の共生を目指した母親のニーズ調査 (2) —母親は社会に何を期待するか—	就実短期大学 広島大学 岡山大学 就実大学	○六車美加 伊藤 優 三沢 良 鎌田雅史	
PB27	大学運営による地域子育て支援拠点事業の展開 —利用者調査および全国 web 調査に基づく参加学 生のイメージ—	神戸学院大学 神戸学院大学 神戸学院大学	○清水寛之 村井佳比子 道城裕貴	

PB28 教員養成学部生が教職を選択／敬遠する背景に何かあるか

滋賀大学

若松養亮

人格

PB29 畏敬の念と知的好奇心の関連
—縦断ネットワーク分析を用いた検討—

京都大学
京都大学

○澤田和輝
野村理朗

#

PB30 強みの多さ，強み認識および強み活用感と心理的ウェルビーイングの関連

鳴門教育大学大学院
岐阜聖徳学園大学

○福留隆央
吉田琢哉

臨床

PB31 自然災害被災地訪問による行動の変容に関する研究
—東日本大震災の体験を通じて—

九州大学
九州大学

○田中真理
鎌滝晋礼

#

PB32 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）由来の青少年のトラウマ反応の収束
—2024年調査の結果から—

日本女子大学
立命館大学

○山本 奨
大谷哲弘

PB33 中学受験をめぐる親子の心理的葛藤
—教育マルトリートメントに着目して—

東京未来大学
東京未来大学
東京未来大学

○井梅由美子
藤後悦子
大橋 恵

特別支援

PB34 ディスレクシア児の音韻意識と文字列の視覚注意範囲が読み能力に及ぼす影響

明星大学
明星大学
比治山大学

○杉本明子
柴崎光世
吉田弘司

#

#

PB35 能登半島地震被災地区での調理実習授業によるこころのケア

金沢大学
金沢大学

○足立由美
吉川弘明

#

PB36 知的障害児のリズム同期における映像資料の呈示内容に関する研究
—4種類の映像資料を用いた実験的検討—

大阪教育大学

湯浅哲也

学校心理学

PB37 SEL を学ぶ教師向けオンデマンド教材の活用とその効果について

静岡大学
法政大学
東京情報大学
東京大学
福岡教育大学
徳島文理大学

○小林朋子
渡辺弥生
原田恵理子
窪田由紀
西山久子
松本有貴

PB38	小学生における友人関係、学習意欲の縦断的变化	兵庫教育大学 島根大学 奈良教育大学	○藤原和政 川俣理恵 粕谷貴志	
PB39	子ども理解と指導の省察に向けた担任教師間の相互 コンサルテーションの開発と導入 (1)	愛知教育大学 名古屋市立中川小学校	○弓削洋子 中川 明	
PB40	子ども理解と指導の省察に向けた担任教師間の相互 コンサルテーションの開発と導入 (2)	名古屋市立中川小学校 愛知教育大学	○中川 明 弓削洋子	
PB41	小学1年生とその保護者を対象とした「学校生活に 対する安心感を高めるプログラム」の実践と評価 —小1プロブレムの予防に向けて—	新潟青陵大学 青森県立総合教育センター	○本間優子 板垣 彩	#
PB42	通信制高校に通う生徒を対象としたベップトークの ワークショップによる実践的研究 —対人関係能力と自己肯定感向上を目指した取り組 み—	開智望中等教育学校 福岡教育大学	○日下典子 山田洋平	
PB43	中学生用社会的・情緒的健康調査 (Social-Emotional Health Survey-Secondary : SEHS-S) と学級適応感 との関連	岡山大学 岡山大学 筑波大学 筑波大学	○伊住継行 安永和央 半田知佳 飯田順子	
PB44	中学2年生を対象とした強み介入の実践	京都女子大学	阿部 望	
PB45	教育機会確保法とコロナ禍は不登校児童生徒数に影 響したのか？ —児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課 題に関する調査結果に基づく中断時系列分析を用い た二次的検討—	東京未来大学	佐藤亮太郎	
PB46	小学校教員の well-being に関する研究 —職業上の悩みに着目して—	東京学芸大学大学院 摂南大学 仙台市立北六番丁小学校 上越教育大学	○五十嵐健一 西村晃一 糟谷樹理 生方 直	# #
PB47	大学受験のとりえ方と諦めに対する認知との関連 —ソーシャルサポートと志望度に着目して—	駒澤大学大学院 中央大学	○梅寺優那 富田拓郎	
PB48	高等学校におけるデート DV 予防プログラムの効 果検証 —バイスタンダープログラムの長期的効果—	四天王寺大学 同志社大学 福山大学	○上野淳子 松並知子 赤澤淳子	
PB49	教員養成大学における教育相談実践基礎プログラム (1) —プログラムの立ち上げと、プログラム履修者の実 態調査—	桃山学院大学 桃山学院大学 桃山学院大学 桃山学院大学	○永井明子 葉山貴美子 木村佐枝子 松久眞実	# #
PB50	スマホを取り上げれば大学生は課題提出メ切を守る ようになるのか —学業遅延尺度と時間管理能力尺度を用いた検討—	北海道教育大学函館校	林 美都子	
PB51	メンタルヘルスの二次元モデルに基づく学校全体メ ンタルヘルスクリーニングの妥当性の検討 (2) —中学校における実践データより—	筑波大学 筑波大学	○飯田順子 半田知佳	
PB52	いじめ被害・加害経験がいじめ被害者への有責性意 識に及ぼす影響 —性差の背景要因としての被虐待経験—	甲南大学 甲南大学大学院	○福井義一 堀 孝司	

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

測定・評価・研究法

PB53 「インストラクショナルデザイン」の授業での学び
とモチベーション推移の分析（2）
—学ぶことを学ぶ—

東京電機大学 ○土肥紳一
東京電機大学 今野紀子

PB54 評価基準の簡潔化と字数制限が評定者間の一致度に
及ぼす影響
—各評定者に着目した分析—

岡山大学 ○安永和央
名古屋大学 野口裕之

ポスター発表 C

第1日 10月11日(土) 16:00~18:00 3階 31会議室
在席責任時間 奇数番号 16:00~17:00 偶数番号 17:00~18:00

会員
10/11

会員
10/12

会員
10/13

PA
10/11

PB
10/11

PC
10/11

PD
10/12

PE
10/12

PF
10/12

PG
10/13

PH
10/13

発達

PC01	Intensive parenting attitude(育児における徹底的な態度)と母親の養育行動・子どもの発達との関連	横浜市立大学	江上園子
PC02	幼児の「集中した興味」と気質との関連性	鎌倉女子大学 早稲田大学 早稲田大学	○細野美幸 藤村愛梨 佐治伸郎 #
PC03	大学受験からの有益性発見の内容 —自由記述調査を基に—	広島文化学園大学 埼玉大学	○堀井順平 中井大介
PC04	人々が暗黙裡に抱く親になる「資格」とは？ —「親になる資格」の認識尺度の作成—	龍谷大学	扇原貴志
PC05	在学中に妊娠・出産・育児を経験した保育学生が学業との両立で感じたこと	静岡産業大学	日隈美代子
PC06	児童期における関数に関する概念的理解の発達と促進要因 —個別実験による学年差と類似事象の探索条件が及ぼす効果に関する検討—	東京大学大学院	吉田知世
PC07	育児期の母親における社会的文脈と認知的特性 —心の理論と場面依存性の発達の関係性—	同朋大学	小沢日美子

教授・学習・認知

PC08	ルールによる予測-確認活動が後続の学習に及ぼす効果 —「問い」の生成に着目して—	東北大学	佐藤誠子
PC09	現職教員と教員志望学生の学習観・学習方略観に関する検討 (1) —学習観の構造に関する検討—	大阪教育大学 阪南大学 奈良教育大学	○林 龍平 崎濱秀行 藤田 正
PC10	現職教員と教員志望学生の学習観・学習方略観に関する検討 (2) —学習方略観の構造に関する検討—	奈良教育大学 大阪教育大学 阪南大学	○藤田 正 林 龍平 崎濱秀行
PC11	現職教員と教員志望学生の学習観・学習方略観に関する検討 (3) —学習観と学習方略観との関連に関する検討—	阪南大学 奈良教育大学 大阪教育大学	○崎濱秀行 藤田 正 林 龍平
PC12	生徒の知覚する創造的な教育実践が創造的思考を促す影響過程 —心理媒介変数に着目した PISA2022の二次データ分析より—	大阪大学大学院 大阪大学	○高津 遙 後藤崇志
PC13	小学校高学年における性教育後の『恥ずかしさ』に関する学年別比較 —性の多様性と性的同意について学ぶ事例から—	国士舘大学	郡司津津美
PC14	知識学習方法の差異とその利用の関係	東京大学大学院	稲村 建

PC15	中学生が使用する自己モニタリングに関する知識と理解度評価の正確さの関連 —英文法学習場面における検討—	日本女子大学大学院	内橋舞子	
PC16	教師の自律性を高めるための構造思考トレーニングの効果 —洞察思考と内発的動機づけの関係についての一考察—	跡見学園女子大学	谷戸玲子	
PC17	全国学力テストの学力構造の分析 —思考力・判断力・表現力の重要性の分析—	宮城教育大学	平 真木夫	
PC18	「代理的知識操作」の視点から児童の推論を促す授業開発 —小学1年「動物の形と暮らしの秘密」の授業実践を手がかりに—	兵庫教育大学 兵庫教育大学 信州大学	○吉國秀人 山内敏男 植原俊晴	#
PC19	小学校プログラミング教育による能力育成に関する教員調査	東京科学大学 大阪大学 昭和女子大学 京都大学 東京科学大学	○栗山直子 齊藤貴浩 森 秀樹 楠見 孝 西原明法	# # #
PC20	高学年児童における教師に対する信頼感と積極的授業参加行動および動機づけの関連	明星大学	布施光代	
PC21	知識の活用文脈の不十分な理解が問題解決に及ぼす影響 —割合の場合—	会津大学	蛭名正司	
PC22	教職志望学生の実践報告の活用に向けた探索的分析(2) —「言葉と数の教室」における継続年数にも着目して—	長崎大学 大学入試センター	○野中陽一郎 内田照久	
PC23	教員養成課程科目「教育相談」「生徒指導」に対する学生のレディネスの検討 —レディネス把握のための質問項目の開発と学修の有効性を高める授業の提案—	亜細亜大学 帝京科学大学	○小湊真衣 前嶋深雪	#
PC24	英単語語彙サイズが学習方略使用と有効性認知、時間コストの関連に与える効果	東京学芸大学大学院 横浜国立大学	○橋本真一 鈴木雅之	
PC25	高校生の物理への興味類型と学習観の関連 —自由記述を含む質問紙調査による検討—	市川学園市川中学校・高等学校	飯高匡展	

社会

PC26	大学生の愛着スタイルとチームワーク能力を向上させるトレーニングによるスキルの変化の関連	愛知学院大学	太幡直也	
PC27	ヘルプマークに関する一般市民への教育・啓発内容の検討	富山大学	西館有沙	
PC28	コロナ禍の授業形態が大学生の学校満足度と学校生活意欲に与える影響 (3) —コロナ禍の授業形態が大学生の学習態度と孤独感に与える影響—	摂南大学	牧野幸志	

PC29 こども食堂における実践と大学生の学びの可能性に関する検討
—コロナ禍の活動をふりかえって—

南山大学

中尾陽子

PC30 幼保小架け橋期の子どもの ICT の使用と認知能力、非認知能力、睡眠の問題との関連
—縦断データからの検討—

小田原短期大学
東京女子大学

○風間みどり
平林秀美

人格

PC31 大学生におけるシャイネスの高さとシャイネスに関する自己理論、困難経験、変容願望の関係

京都外国語大学
流通経済大学

○稲垣 勉
澤海崇文

PC32 自己価値の随伴性の3領域と大学生生活実度、抑うつ・不安との関連性

植草学園大学

金子功一

臨床

PC33 アプリを用いたいじめ解消の効果検証
—9時点の縦断調査にもとづく検証—

北海道大学
北海道大学大学院

○加藤弘通
舒 悦

PC34 社会的養護経験のある若者の自立支援における効果測定の試み
—「巣立ち支援」のロジックモデルに基づいて—

聖心女子大学

平井美佳

PC35 ADHD 系の発達凸凹（発達障害）に対して、医療とコラボしながら服用を促した（服用を中断した）サプリメントの観察研究

青山学芸心理
神保町診療所

○高山 智
関野 一

#

PC36 対人関係ゲームにおける「聴き方」と「話しやすさ」の検討

聖徳大学

鈴木由美

特別支援

PC37 多様な人々とのインクルーシブスポーツ体験が小学生の子どもに与える影響

東京未来大学
東京未来大学
東京未来大学

○藤後悦子
大橋 恵
井梅由美子

PC38 特別支援学校（聴覚障害）生徒の教科指導における手話の読み取りに関する事例の検討
—眼球運動を指標とした分析—

横浜国立大学

雁丸新一

PC39 特別支援学校高等部における生徒の出席率を高めた要因に関する事例検討

立命館大学大学院
南山大学
安曇野市立豊科北小学校

○森本晃介
市川 哲
工藤 弘

会員
10/11

会員
10/12

会員
10/13

PA
10/11

PB
10/11

PC
10/11

PD
10/12

PE
10/12

PF
10/12

PG
10/13

PH
10/13

学校心理学

PC40	草創期から活動するスクール・カウンセラーの自己像の変遷 —「育ちゆく黒子」という物語—	東京大学 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学 駒沢女子大学	○能智正博 小竹 栞 津田容子 大橋英永 太齋 慧 梁 瀛迪 綾城初穂	# # # # # #
PC41	教職課程の大学生における教職志望と教職自己肯定感、教職自己効力感への影響因 (1) —入学年度時の測定データにおける教職志望理由と大学での成績との関係—	鳴門教育大学 鳴門教育大学	○山崎勝之 内田香奈子	
PC42	教職課程の大学生における教職志望と教職自己肯定感、教職自己効力感への影響因 (2) —2年間の縦断測定データにおける教職志望変化をもたらす要因—	鳴門教育大学 鳴門教育大学	○内田香奈子 山崎勝之	
PC43	「仮面登校」の中学生の実態 —生活リズムと主観的な健康度との関連—	共栄大学 上智大学 川村学園女子大学	○木村文香 酒井 朗 松岡靖子	# #
PC44	教師の SEL に対する信念に関する検討	東京情報大学 法政大学	○原田恵理子 渡辺弥生	
PC45	教育実習が教員志望度に与える影響	至学館大学 愛知教育大学大学院	○丸山真名美 鈴木学之	#
PC46	仲間からの承認を取り入れた授業実践は不登校予防につながるか —欠席状況による違い—	愛知教育大学 東京学芸大学 上越教育大学 愛知教育大学	○五十嵐哲也 江角周子 寺戸武志 福田博美	# #
PC47	道徳不活性化と攻撃行動の形態及び機能との関連の縦断的検討	文教大学 筑波大学	○渡邊健蔵 濱口佳和	
PC48	中学生がいじめの仲裁者となる経路とその後 —複線経路等至性モデリングを用いた時系列の分析—	東京大学大学院 東京大学大学院	○江見桐子 楊 柳蒼	#
PC49	教員の異動後の適応を促進する要因の検討	早稲田大学大学院 早稲田大学	○飯沼俊雄 河村茂雄	
PC50	SOS の出し方教育における地域連携モデルの効果検証	中京学院大学 北海道大学 岐阜大学 北海道大学大学院	○江畑慎吾 大谷和大 松本拓真 鈴木修斗	
PC51	高校生のメンタルヘルスの経時変化 —2021～2024年の継続調査に基づく精神的負担の緩和要因の探索—	東京成徳大学高等学校 東京成徳大学高等学校	○塚本浩貴 今井梨乃	#
PC52	学級担任による計画的・継続的な傾聴の会話が児童の援助要請態度に与える影響に関する研究	東京都公立小学校 筑波大学	○濱元徹美 飯田順子	
PC53	子どもの語りから見る高等学校への適応	長岡市立関原中学校	丸山香織	

PC54 進学希望の高校3年生の自律的動機づけ要因とキャリア意識の関連
—「とりあえず進学」をめぐる理論に関する実証的アプローチ—

帝京大学 中畠 剛

会員
10/
11

PC55 援助要請意図を高める要因の検討

兵庫教育大学大学院 ○植村慧央
兵庫教育大学 森本哲介

会員
10/
12

測定・評価・研究法

PC56 素点を用いたDTF検出法における集団間の平均値差補正に関する研究
—素点に基づいたシミュレーション研究を通じて—

東北大学 ○熊谷龍一
株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 坂本佑太郎

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

ポスター発表 D

第2日 10月12日(日) 9:30~11:30 3階 31会議室

在席責任時間 奇数番号 9:30~10:30 偶数番号 10:30~11:30

発達

- | | | | |
|------|--|-------------------------------|-----------------------|
| PD01 | 認知的方略タイプによる主観的幸福感の違い
—競泳競技のアスリートを対象として— | 早稲田大学大学院
早稲田大学 | ○牧野紘子
河村茂雄 |
| PD02 | 子どもの消費行動の発達
—子どもの気質、家庭での消費者教育との関連— | 中京大学 | 水野里恵 |
| PD03 | 母親の内省機能と幼児の肯定的感情の表現・調整行動との関連
—日本語版「養育者の内省機能尺度」を用いた検討— | 立命館大学 | 篠原郁子 |
| PD04 | 父親の育児動機づけと年齢および育児年数の関連についての検討 | 東京未来大学
東京未来大学
国立教育政策研究所 | ○大内善広
野澤義隆
萩原康仁 |
| PD05 | 自己評価動機特性と自己注目がアイデンティティ発達に及ぼす影響 | 昭和のこども相談室
埼玉大学
愛知教育大学 | 原田宗忠
中井大介
○黒川雅幸 |
| PD06 | 子どもの発達に関する知識と養育態度の関連性の検討 | 広島大学大学院
広島大学 | ○楊 依梵
清水寿代 |
| PD07 | 中高生の自己受容の様相
—質的調査による検討— | 日本女子大学大学院
日本女子大学 | ○兒玉英莉
瀬尾美紀子 |
| PD08 | 無人島空想技法におけるひきこもり支援への活用
—プログラムに対する大学生の自由記述からの分析— | 坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校
聖徳大学 | ○飛高和浩
鈴木由美 |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|------|---|-------------------------------|---------------|---|
| PD09 | 読解方略の自発的な活用を促す指導法の検討
—小学6年生における説明活動の効果— | 広島大学
広島大学 | ○深谷達史
藤田裕菜 | # |
| PD10 | ある小学校教師の自由進度学習への挑戦 | 琉球大学 | 道田泰司 | |
| PD11 | 概念型探究を学ぶプロセスで学生の認識はどのように変化するか | 愛媛大学 | 富田英司 | |
| PD12 | 英語語彙学習方略の使用における英語自己効力感と英語認知的信念の相乗の効果 | 京都教育大学
マヒドン大学インターナショナルカレッジ | ○赤松大輔
藤原隆祥 | # |
| PD13 | オンライン学習過程における理解度と自己効力感との関連
—知識正確性／知識再構築に対する自己効力感に注目して— | 三重大学
京都外国語大学 | ○中西良文
梅本貴豊 | |
| PD14 | SNS上の情報に対する反応に関わる個人の特性 | 西日本工業大学 | 山縣宏美 | |
| PD15 | 物語で育む英語力
—中学生に残る学びとは?— | Temple University in Japan | アレン玉井光江 | |

PD16	メタ認知的活動を意識した分散型検索学習の効果体験プログラムの開発 —高校生を対象とした予備的検討—	京都市立芸術大学 兵庫教育大学	○堀田千絵 加藤久恵	#
PD17	高校生における他者との親密さ、他者が有する学業への価値観の認知と学業的達成目標との関連 —友人関係、教師との関係に着目して—	松本大学	海沼 亮	
PD18	教職・保育職志望学生の表現力の学びの効果に関する一考察 —主観的幸福感、レジリエンスの視点から—	愛知東邦大学	堀 篤実	
PD19	ソーシャルスキルに対する自律的動機づけとスクール・モラルとの関係の検討	山口学芸大学 早稲田大学	○森 俊博 河村茂雄	
PD20	日本の大学生に見られる英語学習不安の要因と軽減に向けた教育的アプローチ	東京学芸大学大学院	小林ゆみ	
PD21	高校生の学校活動の参加を予測する境遇活用スキル	京都大学大学院 京都大学 京都大学	○梶谷哲史 高橋雄介 楠見 孝	
PD22	SNS におけるアカウントの複数所有目的と自己多元性の関連	山梨大学大学院 山梨大学	○工藤日南子 小野田亮介	
PD23	こども園の管理職研修における保育者ストレスが心理的安全性に与える影響に関する研究	常葉大学 四條畷学園短期大学	○赤田太郎 金川朋子	
PD24	高校生の第一志望大学選択動機尺度の作成の試み —期待-価値理論と自己決定理論に基づく検討—	お茶の水女子大学大学院	師岡あゆみ	
PD25	データサイエンス学習に対する認知的興味と不適応的な学習行動との関連の検討	関西大学大学院 関西大学	○中大路 誠 杉本英晴	
PD26	集団主義的文化圏に有効な新 MCII (Mental Contrasting with Implementation Intentions) の開発と効果検証 —レポート課題を対象として—	名城大学 東洋大学 奈良女子大学 大阪大学 昭和女子大学	○原田知佳 尾崎由佳 竹橋洋毅 後藤崇志 榊原良太	# #
社会				
PD27	影響手段の選択が教師集団の関係性構築に及ぼす効果 —社会的承認と対人的不安を指標とする時系列的検討—	就実大学 岡山大学	○鎌田雅史 三沢 良	
PD28	がん検診受診の意思決定を支援する教育資材の効果検証	関西福祉科学大学 大阪大学 福島県立医科大学 大阪大学	○山村麻予 松村悠子 坪倉正治 平井 啓	# # #
PD29	認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (1) —80種類の認知バイアスの経験と認知的熟慮性検査および情報処理スタイルの関係—	立正大学 放送大学 十文字学園女子大学 東京家政大学	○高比良美詠子 森 津太子 池田まさみ 宮本康司	#

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

- | | | | |
|------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| PD30 | 認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (2)
—80種類の認知バイアスの経験と知的謙虚さおよび
メタ認知の関係— | 放送大学
十文字学園女子大学
立正大学
東京家政大学 | ○森 津太子
池田まさみ
高比良美詠子
宮本康司 # |
| PD31 | 認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (3)
—80種類の認知バイアスの経験と推論の誤りの関係
— | 十文字学園女子大学
立正大学
放送大学
東京家政大学 | ○池田まさみ
高比良美詠子
森 津太子
宮本康司 # |

人格

- | | | | |
|------|-------------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| PD32 | 道徳的志向と道徳基盤の関連
—モラルコンピテンスによる調整効果— | 慶應義塾大学
鎌倉女子大学
立命館大学 | ○川本哲也
藤澤 文
荒木寿友 # |
|------|-------------------------------------|---------------------------|-------------------------|

臨床

- | | | | |
|------|--|--|---------------------------|
| PD33 | 教員だけでは支えきれない学生ニーズの多様化
—PS 室との協働が生む学生支援の新たな可能性— | 日本福祉大学
日本福祉大学
日本福祉大学 | ○大西 満
小島健一 #
坂倉智大 # |
| PD34 | 小学生におけるウェルビーイングと自治的集団の関
連についての検討 | 新潟大学附属長岡小学校
上越教育大学 | ○目黒幸士郎
赤坂真二 |
| PD35 | 友人から同性愛／両性愛開示を受けた者の心理的変
化に関する質的研究
—M-GTA による大学生へのインタビューデータの
分析— | 大阪大学大学院
大阪大学 | ○辻 拓真
直原康光 |
| PD36 | Latent Trajectories of Internalizing Problems and
Their Predictors in Korean High School Students
—Focusing on the Influence of Self-Esteem, Grit,
Peer Relationships, and Teacher Relationships— | Soonchunhyang University
Soonchunhyang University | Heo Moonyung #
○許 蘭雪 |

特別支援

- | | | | |
|------|--|--------------------------------|--------------------------|
| PD37 | 協同学習を用いた交流及び共同学習場面における相
互交渉に及ぼす自己調整機能の特徴 | 北海道教育大学
東北大学 | ○細谷一博
野口和人 |
| PD38 | 高等学校・特別支援学校高等部に在籍する肢体不自
由のある生徒の障害の程度と生活満足度の関連 | 新長崎学研究センター
長崎外国語大学
久留米大学 | ○戸高日奈子
江村理奈
佐藤剛介 # |
| PD39 | 通常学級における生徒の読み能力に対する教師の判
断の正確性
—読み困難の関連能力に着目して— | 東京大学大学院 | 渡邊俊介 |

学校心理学

PD40	チーム学校に基づく多職種連携教育プログラムにおける学修状況 —養護教諭養成課程の学生を対象とした検討—	創価大学 大阪公立大学	○相樂直子 大野志保	
PD41	児童版の本来性自己肯定感尺度の予備研究	信州大学 岐阜県揖斐郡池田町立八幡小学校	○横嶋敬行 小林佑里恵	
PD42	小学校5年生の思いやりと自己肯定感を育む —PMASC プログラムの効果検証—	岐阜県揖斐郡池田町立八幡小学校 信州大学	○小林佑里恵 横嶋敬行	
PD43	小学校教師の組織への所属意識と同僚教師に対する教育観の差異の認知との関連	金沢星稜大学 早稲田大学	○森永秀典 河村茂雄	
PD44	小中学生はいじめをしない要因をどのように認知しているか	大阪教育大学 大阪教育大学	○四辻伸吾 水野治久	
PD45	小学校低学年における学年ごとの学級集団状態の検討	島根大学 兵庫教育大学 鈴鹿大学	○川俣理恵 藤原和政 水谷明弘	#
PD46	小中一貫校と非一貫校の学校移行期における学校生活の違い —小学6年生から中学1年生にかけての縦断調査の分析から—	東京都立大学 和光大学 静岡大学 中央大学	○岡田有司 高坂康雅 金子泰之 都筑 学	
PD47	心のイキイキした気分状態と非認知能力との関連性 —中学生の Well-being に向けた「うえるスタ！」プロジェクトの成果と課題—	出雲北陵中学・高等学校	和田拓真	
PD48	中学生の友人関係形成欲求の類型化と友人や学級との関係の検討	早稲田大学大学院 早稲田大学	○仲里直美 河村茂雄	
PD49	外部人材と学校の協働による対話を通じた学びを促す課外活動 —中等教育での校則見直し活動の実践—	北陸先端科学技術大学院大学 北陸先端科学技術大学院大学	○曾渡部春香 池田 満	#
PD50	強み介入授業による中高生の自己理解の変化 —20答法, 自己受容, 肯定的な未来志向から—	早稲田大学大学院 大阪大学大学院	○松崎美奈子 小形美妃	
PD51	日本版 SMHC・学校心理コーディネーター (School Psychological Coordinator・SP) 配置の検討 —多層・横断的フレームワークによる児童、教員への心理支援—	慶應義塾大学	小泉二郎	
PD52	生徒指導方針に関する保護者の信頼構築による学校不適応の未然防止 —保護者との情報共有を核とする検証—	岐阜県池田町教育委員会 岐阜大学	○七種典威 吉澤寛之	
PD53	通常学級における多様な教育的ニーズのある児童に寄り添う学級担任への支援 —教育相談主任による UDL に基づく授業づくり支援と学級担任へのコンサルテーション支援による校内支援体制の確立を目指して—	白岡市立篠津小学校 埼玉大学	○越 佑喜 堀田香織	
PD54	小学生における教師の指導行動が友人関係形成過程に及ぼす影響 —友人関係への動機づけに着目して—	兵庫教育大学大学院 兵庫教育大学	○永井里奈 藤原和政	

PD55 親子間コミュニケーションと子どものゲーム障害傾向の関連
—日本語版 Perceived Parental Media Mediation Scale (PPMMS) の作成とモデル検証—

東京成徳大学大学院
筑波大学

○稲垣陽人
飯田順子

測定・評価・研究法

PD56 物理の力学概念に関する認知診断的コンピュータ適応型テスト (CD-CAT) の開発

宮崎大学

中村大輝

ポスター発表 E

第2日 10月12日(日) 13:00~15:00 3階 31会議室
在席責任時間 奇数番号 13:00~14:00 偶数番号 14:00~15:00

会員
10/11

会員
10/12

会員
10/13

PA
10/11

PB
10/11

PC
10/11

PD
10/12

PE
10/12

PF
10/12

PG
10/13

PH
10/13

発達

PE01	児童生徒の月齢差による相対年齢効果と自己意識 —高校3年間での変容—	大学入試センター	内田照久
PE02	幼児の友人間の「ほめ」(7) —「ほめ」の回数と状態自尊感情の変化のパターン の関連—	藤女子大学	青木直子
PE03	成人期における親の老いの認知と親の老いに対する 態度との相互関係	和洋女子大学	池田幸恭
PE04	保育・幼児教育現場における施設長のラインケア実 践のプロセス	筑波大学 比治山大学 大阪総合保育大学 作新学院大学女子短期大学部	○松田侑子 濱田祥子 渡辺俊太郎 設楽紗英子
PE05	日本の幼児の親がほめたり叱ったりする際の理由と 心がけていること	広島大学大学院 広島大学	○立石杏佳 杉村伸一郎
PE06	前期高齢者による仮想的説明時のメタ説明は手順文 の学習を促すか？ —発話データに基づく時系列的な影響過程の分析—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学 立命館大学	○元木萌水 山本博樹 亀井隆幸 土田宣明
PE07	不登校の生徒とスクールカウンセラーとの面談記録 の分析 —未達成と思われる発達課題に着目した記録の整 理—	早稲田大学大学院 早稲田大学	○伊賀美夕季 河村茂雄
PE08	保育者養成校における授業プログラムについての一 考察 (2)	尚綱大学短期大学部	小松和佳

教授・学習・認知

PE09	クラスサイズと授業中の児童の学習行動	日本大学 人間環境大学 東京未来大学 県立広島大学	○山森光陽 徳岡 大 大内善広 草薨邦広
PE10	理科教科書のグラフを学習者はどのように読んでい るか	東京学芸大学	犬塚美輪
PE11	深い学びを保证する教師のメタ認知の働き —授業前の教師のメタ認知の分析—	北海道教育大学 北海道教育大学 北海道教育大学 北海学園大学	○懸田孝一 宮崎拓弥 吉野 巖 浅村亮彦
PE12	大学生におけるクロノタイプ、社会的ジェットラグ と学習に関する予備的検討	京都外国語大学	梅本貴豊

PE13	「特定の教科の問題である」情報と学習観がグラフの読み取り・解釈を行う問題回答に及ぼす影響 —高校生を対象とした数学的リテラシー課題の場合—	群馬大学	鈴木 豪	
PE14	大学生におけるスマートフォンとの距離感と読書習慣の関連性	立命館大学 華頂短期大学	○川那部隆司 渋谷郁子	
PE15	理科の自己調整学習方略の使用を促す授業および授業外学習指導の検討	東京未来大学 NPO 法人授業高度化支援センター	○小林寛子 鍋木良夫	#
PE16	友人関係への動機づけの違いと共同作業に対する認識の変化 (2) —大学初年次教育における継続的な検討—	医療創生大学	名取洋典	
PE17	口頭説明対話における聞き手の発話背景要因と学習効果に及ぼす影響 —コミュニケーション能力尺度にもとづく検討—	公立はこだて未来大学	辻 義人	
PE18	英文読解における読解目標とビリーフの効果	神田外語大学 神田外語大学	○堀場裕紀江 李 榮	
PE19	大学英語教員が認識する授業不安 —影響要因との関係に基づく包括的な理解を目指して—	北海道大学	片岡恋惟	
PE20	達成目標構造、達成目標志向性と自己効力感の非線形関係の検討	奈良教育大学大学院	岡田拓人	
PE21	研究者と実践者の協働による深い理解を促す課題の設計 —授業効果の検証と設計原理の探索—	東京大学大学院 静岡県立高等学校 京都府立高等学校	○高橋幸太郎 河合晃樹 鹿野直人	# #
PE22	自発的、自治的な活動に取り組む児童の動機づけの変容プロセスに関する探索的検討	豊橋市立富士見小学校 上越教育大学	○水流卓哉 赤坂真二	
PE23	高校生の実験計画に現れる科学的思考の質的分析	東京大学大学院	山内咲季	
PE24	高校英語科での内容と言語に関する概念的理解の関連性 —ジグソー活動における発話の探索的検討—	東京大学大学院	原田大希	
PE25	中学校の副教材として利用されている紙素材のワークとデジタルワークの取り組みやすさの違いについて	横浜市立本宿中学校	尾口俊一	
PE26	小学校における宿題の遂行に関連する要因の検討	南山大学附属小学校 兵庫教育大学	○太田早紀 細谷里香	
PE27	説明的文章の「鍵概念」の理解が想念の「侵入」に及ぼす影響	札幌学院大学 東北大学	○舩田弘子 工藤与志文	

社会

PE28	フォロワーの認知に着目した校長の勢力とリーダーシップについての研究	九州共立大学	迫田裕子	
PE29	大学生のノモフォビア傾向に関する調査研究 —NMP-Q 日本語版作成の試み—	金城学院大学	○石津和子 小田切彩乃	#

PE30	支払方法の選択が消費者に与える影響	島根県立大学	橋本由里	
PE31	集団活動での協働経験を通じて培われるリーダーとしての効力感 —経験学習習慣の役割に着目した検討—	岡山大学 (株)ベネッセコーポレーション 文教大学	○三沢 良 金見駿汰 長谷川尚子	# #
PE32	未来の自己への手紙がもたらす自己連続性 —毎月の筆記課題を用いた介入の効果—	筑波大学 株式会社 LetterMe	○千島雄太 西村静香	#

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

人格

PE33	保育者をめざす女子大学生の自称詞使用の変化 —2001年, 2011年, 2024年の比較—	名古屋柳城短期大学	小嶋玲子	
------	---	-----------	------	--

臨床

PE34	子どもの無気力感予防チェックリストの開発 —保護者による評価尺度の妥当性の検討—	大阪教育大学	牧 郁子	
PE35	大学生の回想による児童生徒時期の登校回避感情に 及ぼすストレス関連要因の影響	國學院大學	渡邊雅俊	
PE36	第一世代大学生のメンタルヘルスと大学生活充実度 の関連 —継続世代大学生との比較を通じた検討—	大阪国際大学	木村真人	
PE37	教育的対話力育成オープングループに関する臨床心 理学的研究 —教師のリーダーシップ力開発の視点から—	山梨学院短期大学	雨宮基博	

特別支援

PE38	聾学校における手話の抑圧 —個人主義的学習理論の過ち—	三重大学	栗田季佳	
PE39	教職授業における障害理解の深化と平和との関連	室蘭工業大学	今野博信	

学校心理学

PE40	チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育 プログラム試行について —職種ごとの振り返りによる学習効果についての検討—	就実大学 社会福祉法人 ニライカナイ 就実大学 就実大学	○荊木まき子 平野貴大 門原眞佐子 石原みちる	# #
PE41	「教育心理学」に関するシラバス分析 —学校現場に対応できる教員養成の検討 (1) —	元東京学芸大学 大和大学	○瀧 光彦 茂呂輝夫	
PE42	「教育心理学」に関するシラバス分析 —学校現場に対応できる教員養成の検討 (2) —	大和大学 元東京学芸大学	○茂呂輝夫 瀧 光彦	

PE43	感情理解におけるマスク非着用者と着用者に対する着目の差異	関西外国語大学 京都教育大学 摂南大学	○森田健宏 田爪宏二 吉田佐治子
PE44	小学生の友人関係ネットワークにおけるソーシャルスキルの機能	高知大学 立正大学 兵庫教育大学 東京理科大学	○福住紀明 村上達也 藤原和政 西村多久磨
PE45	新任教員に対する学級経営コンサルテーションの効果と課題	関西福祉科学大学 共立女子大学	○前田美穂 井口武俊
PE46	小中学校で不登校を経験した生徒の予後と保護者の関わり	びわこ学院大学	南 雅則
PE47	説明文の標識化は学生相談機関への援助要請意図を高めるか？ —構造方略使用傾向に着目して—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学 立命館大学大学院	○原 千尋 山本博樹 亀井隆幸 王 語非
PE48	大学生における踊りの相互説明が運動学習と運動有能感ならびに学校適応感に及ぼす影響 —運動有能感の高低による影響過程の差に着目して—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学	○利岡実侑 山本博樹 亀井隆幸
PE49	施設分離型小中一貫校の小学校における児童生徒の社会性の向上 —アセスメントを用いた学校課題に対するアプローチからの実践—	岐阜市立黒野小学校 岐阜大学	○花房 茂 吉澤寛之
PE50	看護・医療系進路を想定した高校生へのキャリア・カウンセリングの効果 —進路多様群との比較を通して—	福岡教育大学大学院 福岡教育大学	○三苫由美子 西山久子
PE51	ヴァイオリン演奏者の相互説明が技能向上に及ぼす影響 —技能向上を目指すアマチュア演奏者を支援する発話—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学 立命館大学大学院	○角野紗彩 山本博樹 亀井隆幸 利岡実侑
PE52	自分とは異なる他者を受容する (5) —教師用多文化包摂コンピテンス尺度の構成—	名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学 中部大学	○野村あすか 中谷素之 溝川 藍 大山 卓
PE53	生徒指導対応の分類と有効性に関する研究	岐阜市立岐阜清流中学校 岐阜大学	○加納張巨 吉澤寛之
PE54	どのような学校状況が教師の子どもの強みを見出す傾向を促進するのか？ —学校状況が教師ストレングススポッティングや賞賛行動、ならびに教師の自律性支援や休職退職意識に与える影響—	兵庫教育大学 神奈川大学	○森本哲介 高橋 誠
PE55	子供の声を聴き学級経営に活かすためのアンケートの活用と実践	埼玉県公立小学校	石井雄大

#

測定・評価・研究法

PE56 自傷行為に対する多面的イメージ尺度（SIMIS）の
開発に向けた研究
—中学生を対象として—

神戸大学大学院 ○西 恭平
神戸親和大学 吉田圭吾

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

ポスター発表 F

第2日 10月12日(日) 15:30~17:30 3階 31会議室

在席責任時間 奇数番号 15:30~16:30 偶数番号 16:30~17:30

発達

PF01	協同過程を通じた幼児・児童の表現方略の変化	名古屋大学	橘 春菜	
PF02	児童の自己情報公開行動に関わる要因の検討 (3) —養育者のインターネット利用行動および自己情報公開行動に着目して—	文教大学 江戸川大学	○桑原千明 松尾由美	#
PF03	中学生が友人と過ごす時間と自尊感情の関連 —3年間の縦断データを用いた交差遅延パネルモデル—	中京大学	小川翔大	
PF04	大学生のクラブ・サークル活動に対する傾倒とベネフィット・ファインディング及びキャリアレジリエンスとの関連	広島大学大学院	西村香穂	
PF05	児童期における相手に応じた悲しみ表出の調整に関する認識	名古屋大学大学院 名古屋大学	○吉木香苗 溝川 藍	
PF06	個人内回答分散を用いた「主体的に学び考える力」の予測 —小中学生を対象とした大規模質問紙調査データに基づく考察—	京都大学大学院 京都大学	○溝脇風子 高橋雄介	
PF07	14ヶ月における模倣能力は8歳時点での ASD 傾向を予測しない —浜松母と子の出生コホートによる縦断的検討—	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 大阪大学 浜松医科大学 浜松医科大学	○近藤みゆき 篠原亜佐美 樋口大樹 小林哲生 西村倫子 岩渕俊樹 土屋賢治	# # # #
PF08	大学生の自尊感情と学校環境との関連について	京都美術工芸大学	吉富千恵	

教授・学習・認知

PF09	自律的な学習を継続する学習者の学習観に関する横断的検討	鹿児島国際大学	住田裕子	
PF10	保護者の要因と児童のプログラミング的思考・動機づけとの関連 —小学校低学年を対象としたプログラミング活動の授業実践から—	玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学	○油川さゆり 高平小百合 鈴木美枝子 小酒井正和 大森隆司	# # #
PF11	実践家と研究者の対等かつ相互互恵的な関係性はどの様な場によって構築されるのか —教育研究交流会 (EdForum) の開催とインタビュー調査による検討—	東京大学 東京大学	○植阪友理 田井愛莉南	#
PF12	異なる授業形態での学習者のモチベーションと知識・技術の修得に関わる自己認知	東京電機大学 東京電機大学	○今野紀子 土肥紳一	

PF13	素朴概念と科学概念の心的競合過程 —生物-非生物判断課題における事象関連電位の検討—	秋田大学 秋田大学	○原田勇希 日野咲良	#
PF14	物語の読みの授業を通じた児童の読みの再構造化とそのタイプ —「大造じいさんとガン」の授業実践を通して—	東京大学大学院	渥美稚乃	
PF15	高校生の英語学習における社会的目標構造と学習動機の関連	名古屋大学大学院 名古屋大学	○野田萌葉 中谷素之	
PF16	環境整備と自己選択を取り入れた授業における自律的な子どもの学び —モンテッソーリ教育の子どもの学びの流れを手がかりとして—	三重大学大学院 三重大学	○大西春菜 中西良文	
PF17	想像上の受け手に向けた自己説明の方略 —受け手の属性や状況ならびに課題差の検討—	立命館大学 立命館大学	○亀井隆幸 山本博樹	
PF18	テスト形式の違いが学習方略に影響を及ぼすプロセスの検討	上智大学大学院 上智大学	○山本爽可 廣瀬英子	
PF19	高校生の学習場面における自己説明と他者に対する説明 —説明方略尺度の信頼性と妥当性の検証—	名古屋大学大学院 京都教育大学	○尾藤瑠偉 赤松大輔	
PF20	英語教育エンリッチメントを実現する対話型生成AIの活用 —英語運用に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援—	学習院高等科	山本昭夫	
PF21	自己調整学習方略の導入が教育方法の効力感に及ぼす影響 —「持続可能な教育実習」に向けた教職科目の取り組み—	京都教育大学 津田塾大学 九州大学	○田爪宏二 高垣マユミ 伊藤崇達	
PF22	合唱における音楽的協和感の共有および協同性の発達に関する研究 —合唱指導者の言葉がけに着目して—	京都市立芸術大学大学院	石上浩美	
PF23	国語教科教科書の物語教材における「問い」の種類に関する探索的検討 —中学3年生教材『故郷』を題材に—	東京大学大学院	遠田将大	
PF24	小学生の作文に対する意識とその変化に関する探索的検討 —横断的および縦断的調査の観点から—	北九州市立大学 北里大学	○上田紋佳 猪原敬介	
PF25	大学通信教育課程の学生が用いる自己調整学習の特徴 —通信制と通学制の学生への質問紙調査から—		川島 哲	
PF26	高校生における達成目標志向性のタイプ別による学業的援助授与の検討	三重県立津東高等学校 名古屋大学	○吉田卓司 中谷素之	

社会

PF27	現代の大学生が抱く一人っ子の印象 —少子化時代における新たな一人っ子観—	北星学園大学	後藤靖宏	
------	---	--------	------	--

PF28	高校生活の制約と大学生生活の関連 (3)	作新学院大学女子短期大学部	設楽紗英子
PF29	親は知らない、私たちのリアル —中学生が認識する世代間知識ギャップと性別および愛着スタイルの関連—	関西大学	阿部晋吾
PF30	大学生のコミュニケーションスキルと援助要請行動との関連 —ピアヘルパー活動を通して—	東北生活文化大学短期大学部	米川純子
PF31	視覚的干渉を利用したダークパターンにより誘導された選択に対する認知特性の影響	信州大学 信州大学 愛知学院大学	○佐藤広英 菊池 聡 太幡直也
PF32	大学生の平和意識 —平和に関する現状認識と戦争に対する考え方—	神戸市外国語大学 カナデビア株式会社	○田村美恵 藤田高広 #

人格

PF33	自閉スペクトラム症傾向と自尊感情の変動性との関係 —社会的望ましさを反応を統制して—	豊岡短期大学 京都外国語大学	○稲垣順子 稲垣 勉
------	---	-------------------	---------------

臨床

PF34	大学生を対象とした自殺予防教育における知識と援助要請意図の関連	南山大学 南山大学	○辻本 耐 森山花鈴 #
PF35	採用試験場面における偽装的な受験態度が検査結果に及ぼす影響 —MMPI-3日本版による検討—	公立小松大学	木村 誠
PF36	摂食障害予防教育ボードゲームの開発と評価 —高校生を対象とした効果研究—	神戸学院大学	竹田 剛

特別支援

PF37	特別支援学校における部主事のリーダーシップと教員のレディネスが職場適応に及ぼす影響	愛知県教育委員会 岐阜大学	○伊藤 徹 吉澤寛之
PF38	保育経験が共同注意理解に与える影響の検討 —保育者と保育学生の認識の比較から—	療育特化型事業所ディアーズ1'st 聖徳大学 聖徳大学	○土屋文昭 東原文子 鈴木由美

学校心理学

PF39	学校・家庭・地域を豊かにつなぐネットワークの構築と保護者の安心感の向上 (1) —学校運営協議会を活用したアンカーポイントの視点から—	美濃加茂市立下米田小学校 岐阜大学	○藤原史香 吉澤寛之
------	--	----------------------	---------------

PF40	学校・家庭・地域を豊かにつなぐネットワークの構築と保護者の安心感の向上 (2) —保護者の社会的ネットワークが共同体感覚を介して養育態度に及ぼす影響—	岐阜大学 美濃加茂市立下米田小学校	○吉澤寛之 藤原史香	
PF41	児童生徒の援助行動における適応指標に基づいた状態像の分類	早稲田大学大学院 早稲田大学大学院 早稲田大学大学院 早稲田大学大学院 早稲田大学	○横原希美 松本 優 石川 律 春日佑都 嶋田洋徳	# #
PF42	歯科保健に関する行動を規定する要因についての検討	敦賀気比高等学校	坂本理香	
PF43	教師を対象とした倫理綱領作成プログラムが教師の倫理意識に及ぼす影響	京都教育大学	安達知郎	
PF44	いじめについて考える対話型授業の実践効果 —個人・集団的道德不活性化と学級風土との関連—	都留文科大学 千葉大学 敬愛大学 スタンドバイ株式会社	○青山郁子 岡野健人 阿部 学 谷山大三郎	# # #
PF45	メタバースの談話室におけるおしゃべりはウェルビーイングを高めるか？ —VR ゴーグルを使用したパイロット実験—	静岡福祉大学 東京通信大学	○芳賀道匡 斉藤典明	#
PF46	保育者の動機づけ研究の動向と展望	鎌倉女子大学	金子智昭	
PF47	集団に対する ACT-Matrix を使った心理教育プログラムの効果 —メンターを交えた集団とそうでない集団との違いの検討—	立命館大学大学院	小笹大道	
PF48	高校生におけるテスト不安の構成要素がテスト得点に及ぼす影響 —縦断データによるテスト得点の統制—	同志社大学大学院 関西学院大学大学院 関西学院大学 同志社大学	○川崎紗和子 朝倉智大 佐藤 寛 石川信一	# #
PF49	小学校教員の発達支持的生徒指導観の醸成 —担任教員へのインタビューから見てきたもの—	立命館小学校	上野 良	
PF50	小学校養護教諭が行う保健室での個別保健指導の分類	横浜国立大学大学院 東京学芸大学大学院 聖隷クリストファー大学 横浜国立大学	○金本佐地子 藤森裕紀 菅井 篤 有元典文	
PF51	小学校高学年生のレジリエンス向上につながる支援策の検討	高知大学大学院 高知大学 高知大学	○秋澤和希 古口高志 岡田倫代	
PF52	担任教師の教育行動が高校生のソーシャルスキルおよび抑うつ1年間の変化に及ぼす影響	久留米大学大学院 久留米大学	○古藤栗太 吉良悠吾	
PF53	公民科「倫理」における心理学授業の効果検討 —授業前後の記述比較から—	大阪府立四條畷高等学校	堀江竜也	
PF54	学校教員の教職に対する価値意識がバーンアウト症状の進行に及ぼす効果 —調整分析による検討—	名古屋芸術大学	磯和壮太郎	
PF55	児童期後期における将来の夢の規定要因の検討 —自尊心感情は将来の夢に影響を与えるか—	東大阪大学短期大学部	木下雅博	

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

PF56 心理的安全性尺度（保育者用）の作成
—信頼性、妥当性の検討—

四條畷学園短期大学 ○金川朋子
常葉大学 赤田太郎

ポスター発表 G

第3日 10月13日(月・祝) 9:30~11:30 3階 31会議室

在席責任時間 奇数番号 9:30~10:30 偶数番号 10:30~11:30

会員
10/11

会員
10/12

会員
10/13

PA
10/11

PB
10/11

PC
10/11

PD
10/12

PE
10/12

PF
10/12

PG
10/13

PH
10/13

発達

- | | | | |
|------|---|-----------------|---------------|
| PG01 | 新入社員のジョブ・クラフティングを促すために、
学生時代に身につけるべき心理特性とは？
—キャリアレジリエンスに着目して— | 広島大学 | 児玉真樹子 |
| PG02 | 児童における仲間集団の規範と敵意帰属バイアスお
よび関係性攻撃の関連 | 山形大学 | 関口雄一 |
| PG03 | 初期 SEL としての乳幼児のネガティブな情動調整
の発達
—自己調整から相互調整にいたる「なだめの行動系
列」と「出来事のプロセス理解系列」— | 実践女子大学 | 長崎 勤 |
| PG04 | 成人期における主体的な学びの態度の生涯発達
—心理的 well-being ならびに楽しさの享受の観点
からの検討— | 立命館大学 | 竹内謙彰 |
| PG05 | 幼児はどのように絵本の内容を理解しているのか
—年齢とワーキングメモリに着目して— | 愛媛大学
広島大学 | ○水口啓吾
湯澤正通 |
| PG06 | 中学生から見た親の養育と子どもの攻撃性の関連 | 大阪大学大学院
大阪大学 | ○岸本慶太
直原康光 |
| PG07 | 乳児期の養育者との関係性とその環境が精神発達に
与える影響 | 法政大学大学院 | 大橋里美 |
| PG08 | 高等学校における演劇実践の構成原理としての青年
の対人葛藤
—高校生が考える重要な他者との関係と「言葉」の
重要性— | 北海道大学大学院 | 内山 昂 |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|------|--|---------------------------|-----------------------|--------|
| PG09 | 科学技術のリスクとベネフィットを踏まえた意思決
定を目指す教育プログラムの改善
—小学生の意思決定に関する成果の予備的評価— | 神戸大学
神戸大学
神戸大学附属小学校 | ○坂本美紀
山口悦司
俣野源晃 | #
|
| PG10 | 小学校1年生は勉強をどのように捉えているか？
—対話の活動による検討— | 信州大学
恵那市立武並小学校 | ○三和秀平
三和円香 | # |
| PG11 | 小学校教師のグループ学習に対するモニタリングコ
ンピテンシーの測定
—ビデオクリップを用いた検討— | 大東文化大学 | 児玉佳一 | |
| PG12 | 国家試験合格を導く内発的動機づけの力
—理学療法士養成校における自己調整学習の実態— | 宝塚医療大学
日本福祉大学 | ○成田亜希
大西 満 | |
| PG13 | 「自己調整学習」を教師はどのように捉えているか
—Web 調査による現職教員の認識に関する検討— | 岡山大学
日本女子大学 | ○内田奈緒
瀬尾美紀子 | |
| PG14 | 教師の指導スタイル「構造」の検討
—「自律性支援」との関連から— | 名古屋大学大学院
名古屋大学 | ○鹿島恵理
中谷素之 | |

PG15	複数テキスト読解方略知識の尺度開発 —学習者に注目したモデル修正と構成の試み—	東京学芸大学大学院 東京学芸大学	○川橋郁子 犬塚美輪
PG16	ラポールを育む机間指導の可能性 —ASD 傾向をふまえた一斉授業での検討—	神奈川大学大学院	風間由紀
PG17	数学的創造性とその教授・学習過程について —ショーンフェルドの the true Mathematical knowing について—	星槎大学大学院 星槎大学	○栗原 忍 松浦 均
PG18	グループ活動を取り入れた授業における学生の学びの実態 —社会人基礎力に基づく自己評価を通して—	愛知大学	川上ゆか
PG19	小学校外国語科におけるスピーチづくり方略指導の効果 —複数単元を通した「コツ」の指導と「中間グループ交流」に焦点を当てて—	静岡大学大学院 静岡大学	○澤野敬太 町 岳
PG20	基礎科目への達成目標が後続科目への学習に及ぼす影響 —統計科目を対象にした縦断的検討—	南山大学 南山大学	○解良優基 浦上昌則
PG21	共創の場の形成と展開 —児童と地域をつなぐ表現活動のアクション・リサーチ—	秋田大学	保坂和貴
PG22	教職を希望する学生は「教育方法・技術」の講義から何を学んだか —質問紙調査の結果より—	千葉大学	宮内 健
PG23	組合せ図形の模写の正確性についての個人内変動 —学期間の正確性の評定の推移と学業成績および認知処理過程との関連性—	金沢学院短期大学	鈴木賢男
PG24	入学直後の看護学生と卒業直前の看護学生の酸素吸入回路に関する認識 —呼吸口に着目した医療安全対策—	福岡看護大学 福岡看護大学	○青木久恵 門司真由美
PG25	学校教員が自身の授業改善のために求める学習科学の知見の特徴 —その把握に向けた予備的検討—	丹波市立氷上中学校 兵庫教育大学	○高松昭彦 澤山郁夫
PG26	中学校道徳教科書における問いの傾向 —出版社ごとの内容項目比較とテキストマイニングの結果から—	武蔵大学 青山学院大学	○新原将義 太田礼穂

社会

PG27	高等学校における産学連携の有効性の要因の検討	内田洋行教育総合研究所 内田洋行教育総合研究所	○長谷部育恵 井上信介 #
PG28	仕事におけるリフレクション尺度の開発 —リフレクション・イン・アクションとリフレクション・オン・アクション識別の試み—	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	○今城志保 藤村直子 川崎裕子
PG29	中学生の学力と主観的幸福感の関連の検討 —「全国学力・学習状況調査」を用いたマルチレベル分析—	京都大学大学院 京都大学	○奥田麻依子 内田由紀子 #

PG30 週刊誌による著名人の自殺報道に関する基礎的検討
—三浦春馬さんの報道の分析—

九州医療科学大学

藤原幸子

PG31 他者志向的動機概念の検討

学習院大学大学院

今井 真

会員
10/
11

会員
10/
12

会員
10/
13

PA
10/
11

PB
10/
11

PC
10/
11

PD
10/
12

PE
10/
12

PF
10/
12

PG
10/
13

PH
10/
13

人格

PG32 青年期の自尊感情および対人認知と対人関係傾向の
関連

名古屋葵大学

岡谷ゆい

臨床

PG33 簡易学習による先延ばし改善効果の検討 (2)

宇都宮共和大学

小浜 駿

PG34 写真とイラストを用いたライフストーリーの再構成
—オンライン授業における「人生紙芝居」の体験—

聖路加国際大学大学院

糟谷知香江

PG35 自殺の対人関係理論における対人関係欲求とアイデ
ンティティ・ステータスの関連

奈良教育大学
神戸女子大学

○石井 僚
伊藤美奈子

PG36 学校移行期に着目したユニバーサルメンタルヘルス
予防プログラムの効果検討
—困難さと向社会的行動の長期的検討—

同志社大学大学院
同志社大学大学院
聖泉大学
同志社大学大学院
神戸大学
同志社大学

○竹内百花
岡山美風
松原耕平
辻本 悠
岸田広平
石川信一

特別支援

PG37 韓国の障害のある子どもにおけるメンタルヘルスの
現状と課題

韓国順天郷大学校
韓国順天郷大学校
韓国順天郷大学校
韓国順天郷大学校

○李 熙馥
李 尙禧
高 惠貞
扈 鍾甲

#

PG38 自閉スペクトラム症児のネガティブ感情表出場面
における教師の対応の個人差要因

名古屋大学大学院
名古屋大学

○今泉佳代
溝川 藍

学校心理学

PG39 不登校の子どもをもつ母親の感情尺度の作成

和光大学

○近藤純佳
高坂康雅

PG40 不登校の子どもをもつ母親の感情と援助要請・援助
行動との関連

和光大学

○高坂康雅
近藤純佳

PG41 保護者が学校に望むいじめ対応の立場による相違
—架空シナリオを用いた調査—

東京大学
奈良少年鑑別所
大阪教育大学

○山岡あゆち
鍋島宏之
戸田有一

PG42	ゆるみ型学級における学級生活満足度尺度および学 校生活意欲尺度を活用したコンサルテーション —特別支援対象児の孤立感に着目して—	早稲田大学大学院 早稲田大学 早稲田大学	○児島夕海 高橋 幾 河村茂雄
PG43	学級目標への動機づけ尺度の作成	横浜国立大学 横浜国立大学	○藤原寿幸 鈴木雅之
PG44	親との親密さと親への援助要請意図における学校段 階差の検討	福井大学 南山大学	○林 亜希恵 解良優基
PG45	学校風土の多面的評価に向けた質問紙作成の試み	和歌山県中央児童相談所 大阪教育大学	栗栖唯伽里 # ○寺坂明子
PG46	心理学の知見が教員の生徒理解に与える影響の探索 的検討 —支援行動における対象認識の特徴に着目して—	横浜国立大学大学院 東京学芸大学大学院 聖隷クリストファー大学 横浜国立大学	○石本ほのか 藤森裕紀 菅井 篤 有元典文
PG47	教育支援センターにおける支援員の協働による環境 デザインの実践 —総括担任へのインタビュー結果から—	横浜国立大学大学院 東京学芸大学大学院 聖隷クリストファー大学 横浜国立大学	○福田千登勢 藤森裕紀 菅井 篤 有元典文
PG48	看護学生の基礎看護学実習Ⅰ前後における自己効力 感の変化と不安の関連	北海道大学大学院 北海道大学	○池田香織 大谷和大
PG49	校内連携における養護教諭の役割 —管理職・担任教諭・養護教諭の認識の相違につい て—	千葉県立幕張総合高等学校 星槎大学	○諏訪文子 松浦 均
PG50	対人的疎外感と友人関係が不登校傾向に与える影響 について	東洋大学大学院	佐藤彩加
PG51	フィードバックによるスピーチの改善に影響を与える 過去認知と将来期待の役割 —内容面の充実に基づく効果の検証—	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学	○田中雄一郎 山本博樹 亀井隆幸
PG52	校則改革における三者協働の意義 —中学校における校則見直し実践に対する M-GTA を用いた質的分析—	明石市立魚住中学校 兵庫教育大学	○河崎仁志 秋光恵子
PG53	「強み」の活用記録と教師からのフィードバックが 中学生の自尊感情と自己成長感に及ぼす影響	愛知教育大学大学院 愛知教育大学	○宇都木秀太 石田靖彦
PG54	子どもの居場所づくりに関する研究 —テキストマイニングによる分析から—	都留文科大学大学院 都留文科大学	○三浦奈々美 武蔵由佳
PG55	学生相談機関の利用説明文に対する読解方略の使用 は理解度と援助要請意図を高めるか？	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学	○品川佳希 山本博樹 亀井隆幸

測定・評価・研究法

PG56	学習者の多層的な能力をいかにして診断するか？ —小サンプルサイズでも活用可能なノンパラメトリック DeepCDM の提案と実証—	東京大学大学院 東京大学大学院・日本学術振興会	○加藤 剛 佐宗 駿 #
------	---	----------------------------	-----------------

発達

- | | | | | |
|------|--|----------------|---------------|--|
| PH01 | 幼児の感謝を促進する母親の養育行動 (3)
—幼児の感謝表明を促進する養育行動尺度の作成— | 新潟県立大学
立正大学 | ○藤原健志
村上達也 | |
| PH02 | 幼児の感謝を促進する母親の養育行動 (4)
—幼児の感謝表明を促進する養育行動の特徴— | 立正大学
新潟県立大学 | ○村上達也
藤原健志 | |
| PH03 | 中学生の感情語彙の現状 (2)
—学年における感情語彙の違いについて— | 和洋女子大学 | 塚原 望 | |
| PH04 | 保育者の職業性ストレスと退職意思における変化の
関連性における縦断的検討 | 比治山大学
筑波大学 | ○濱田祥子
松田侑子 | |
| PH05 | 女子大学生におけるキャリア発達とグローバル化適
応およびアンコンシャス・バイアスとの関連 | 名古屋産業大学 | 木川智美 | |
| PH06 | 放課後児童クラブの職員が抱える困難感について | 北海道大学大学院 | 山岸 花 | |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|------|--|------------------------------------|-------------------------------|---|
| PH07 | チャット機能を活用した学習記録が小学生の論理的
振り返りに及ぼす影響と教育的意義 | 東京学芸大学
東村山市立富士見小学校 | ○梶井芳明
小川静月 | # |
| PH08 | クラスサイズと教師の指導行動 | 人間環境大学
東京未来大学
県立広島大学
日本大学 | ○徳岡 大
大内善広
草薙邦広
山森光陽 | |
| PH09 | 「良く書けている文字」とはどんな文字だろうか？
(1)
—流暢性との関係— | 早稲田大学
東京学芸大学大学院
東京学芸大学 | ○高橋麻衣子
川原名見
犬塚美輪 | |
| PH10 | 「良く書けている文字」とはどんな文字だろうか？
(2)
—生徒の文字への分析的な評価観点の検討— | 東京学芸大学大学院
早稲田大学
東京学芸大学 | ○川原名見
高橋麻衣子
犬塚美輪 | |
| PH11 | 言語技術の修得と RST との関連
—「論証」「絵の分析」課題の取り組みから— | 神奈川工科大学
神奈川工科大学 | ○佐藤史緒
山本 聡 | # |
| PH12 | 日本における科学への興味ネットワークモデルの検
証 | 明治学院大学
九州大学 | ○本田真大
伊藤崇達 | |
| PH13 | コスト信念とコスト認知、課題の価値づけとの関連
の検討 | 名古屋大学大学院
名古屋大学 | ○真鍋一生
中谷素之 | |
| PH14 | Web 検索・言語生成 AI を使用した日本語課題文章
と未使用の文章に対する教師評価の差異
—中国語母語話者大学院留学生3名に対する調査結
果をもとに— | 豊橋技術科学大学
立命館大学 | ○石毛順子
大島弥生 | # |
| PH15 | 英文要約作成における内包的語選択方略 | 大同大学
名古屋工業大学
京都大学大学院 | ○浅井 淳
石川有香
松岡真由子 | # |

PH16	教育実習が子どもに与える影響についての探索的研究 —実習指導経験がある教員へのインタビュー調査による検討—	岡山大学	三島知剛	
PH17	学ぶ力尺度の作成と信頼性および妥当性の検討 —学力データとの関連から—	岩手大学 一般財団法人日本教育研究イノベーションセンター 一般財団法人日本教育研究イノベーションセンター	○久坂哲也 高井靖雄 木山さゆり	# #
PH18	グループワークにおける対話活動量とアサーションスキルおよびスピーチスタイルの関係	名古屋学芸大学	内田君子	
PH19	容易に解決できないパズルに取り組む過程で生成AIはどのように利用されるのか —タングラム遂行時に ChatGPT との間で送受信されたメッセージに焦点を当てて—	上田短期大学	多田幸子	
PH20	学習観とノートテイキングの方略の関連について —中学生と教師視点における学習観とノートテイキングの方略の調査分析—	東京学芸大学大学院 玉川大学	○中村直人 池田慎之介	#
PH21	異なる優位感覚における学習意欲の相違について	東京学芸大学大学院	董 徳盛	
PH22	生成 AI を用いた高校課題研究支援が促す生徒の認知・情意的変容 —予備的实践の結果と実証研究計画—	神戸大学附属中等教育学校 東北大学	○林 兵馬 久保沙織	
PH23	制御適合における適切感・課題遂行パフォーマンスを調整するか	名古屋大学大学院 名古屋大学	○小林拓翔 中谷素之	
PH24	大学における学業ストレスと自己調整学習に関する因果モデルの検討	九州大学大学院 九州大学	○鄭 瀟 伊藤崇達	

社会

PH25	見た目問題における自己評価と他者評価	神戸女学院大学 神戸女学院大学	○矢野円郁 瀬部朋美	#
PH26	母親が娘のライフコース選択に及ぼす影響 —KH Coder による自由記述回答分析—	お茶の水女子大学大学院	長尾和奏	
PH27	将来の社会に対する態度を測定する尺度の開発	関西大学 関西大学	○溝口 侑 杉本英晴	
PH28	高校生における自ら学ぶ意欲と将来の社会に対する態度との関連	関西大学 関西大学	○杉本英晴 溝口 侑	
PH29	An Analysis of Adolescent Leisure Activity Structure Based on Subjective Well-being —Focusing on Social Network Analysis—	University of Soonchunhyang University of Soonchunhyang	○Oh Jinseok Park Jin-Hyuck	#
PH30	ビッグスポーツイベントがもたらす個人の行動習慣の変容 —パーソナリティ特性との関連性に着目した検討—	山陽学園大学	藤田依久子	
PH31	男子高校生の友人関係構築に関する探索的研究 —2校の比較と学校システムの影響—	東京大学	青木瑛佳	

人格

- PH32 問題解決スタイルが反すうの諸側面に及ぼす影響
—気分状態との関連から— 兵庫教育大学 石川遥至

臨床

- PH33 いじめ被害からの心的外傷後成長と心理学的幸福感
の関連
—精神的健康を統制した階層的重回帰分析— 弘前大学 長田真人
- PH34 小学生の発達段階の特徴を考慮した集団ソーシャル
スキルトレーニングの効果の検討 岩手大学 ○杉山智風
桜美林大学 小関俊祐
- PH35 不登校の研究 (5)
—保護者の不登校に対する意識の探索的検討— 北星学園大学 ○村井史香
筑波大学 千島雄太
秋田大学 Hou Yuejiang
北海道情報大学 木下弘基
常葉大学 太田正義
北海道大学 加藤弘通

特別支援

- PH36 放課後デイサービスに通う気になる女兒の臨床動作
法による姿勢と行動の変化について 尚綱学院大学 三好敏之
- PH37 知的障害特別支援学校高等部における「自己選択・
自己決定」に焦点を当てた音楽授業の実践 (2)
—フィールドノートから見える生徒の行動変容— 大阪教育大学大学院 ○後呂 洋
大阪教育大学 高橋 登

学校心理学

- PH38 児童生徒の支援と学習保障を両立させるアセスメン
トシートの作成に向けた予備調査
—沖縄県内における作成状況と課題— 琉球大学 ○岸本琴恵
一般社団法人麻布教育ラボ 村瀬公胤
- PH39 小学校教師の自責他責傾向と認知的共感性との関連 神奈川県立保健福祉大学 深沢和彦
- PH40 登校動機づけとウェルビーイング、抑うつ、学業成
績との関連 横浜国立大学大学院 ○須賀日向子
横浜国立大学 鈴木雅之
- PH41 産休・育休から復職直後の小学校教員の態度構造に
ついて 兵庫教育大学 真田穰人
- PH42 高校生の精神疾患に関する学習ならびに知識とメン
タルヘルスリテラシーとの関連 お茶の水女子大学 齊藤 彩
- PH43 通信制高校における生徒の学校適応について 早稲田大学大学院 ○稲田達也
早稲田大学 河村茂雄
- PH44 保育者養成課程におけるファシリテーションの実践
—アドベンチャーカウンセリングの実践を通じて— 豊岡短期大学 原田敬文

PH45	中学校教師のアドボカシー行動尺度の開発	加古川市教育相談センター 兵庫教育大学	○嵐 美貴子 秋光恵子
PH46	認知行動療法に着目した心理教育プログラムが適応感・不安・怒り・ストレスコーピングに及ぼす影響—大学生・大学院生を対象とした実践から—	三重大学大学院 三重大学	○越村真希 中西良文
PH47	小学校教師の感情調節方略が児童の学級適応感・学級風土に与える影響	練馬区立旭丘小学校 Flinders University 筑波大学	○井原英昭 瀧澤 悠 飯田順子
PH48	小学校低学年版「感情の理解と対処の育成」プログラムの適用可能性と予備的效果検証	芦屋市立宮川小学校 鳴門教育大学 鳴門教育大学	○林 達哉 内田香奈子 山崎勝之
PH49	幼小連携の在り方に関する検討—就学までに身につけさせたい資質・能力に着目して—	小野市立市場小学校 兵庫教育大学	○小西あゆみ 藤原和政
PH50	学校と福祉・医療機関等との連携に関する研究	紀の川市役所 兵庫教育大学	○木下敦美 秋光恵子
PH51	学生相談室の具体的情報を掲載したリーフレットの提示が相談室イメージ及び援助要請意図に及ぼす影響	立命館大学大学院 立命館大学 立命館大学	○佐野瑠以子 亀井隆幸 山本博樹
PH52	教師に対する援助要請経験が心理的援助の専門家に対する被援助志向性に及ぼす影響—経験の質に着目して—	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○中辻まなみ 玉木健弘
PH53	中学生の友人関係が学校適応感や攻撃行動に及ぼす影響	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○西川友梨 玉木健弘
PH54	生徒指導上の課題に対する教師の指導行動—教職課程の学生の経験及び実行可能性の検討—	都留文科大学大学院 都留文科大学	○刀根愛斗 武蔵由佳

測定・評価・研究法

PH55	教員用問題行動対応方略尺度の作成	東京学芸大学 名古屋大学 兵庫教育大学	○松山康成 Peng Ziyang # 真田穰人
------	------------------	---------------------------	--------------------------------

日本教育心理学会第67回総会プログラム

発行日 2025 年 10 月 11 日

発行者 一般社団法人 日本教育心理学会

日本教育心理学会第67回総会
広告掲載・出展者ご芳名

アイブリッジ

学苑社

金子書房

子どもの発達科学研究所

新曜社

ちとせプレス

電算

ナカニシヤ出版

ぬくもり工房

ひつじ書房

北樹出版

明石書店

風間書房

北大路書房

三京房

誠信書房

デジタルメディック

統計質保証推進協会

日本文化科学社

博報堂教育財団

福村出版

有斐閣

(五十音順 敬称略)

本総会を開催するにあたり、上記各社より多大なご支援をいただきました。
心より感謝申し上げます。

2025 年 10 月

一般社団法人 日本教育心理学会

はじめよう！心理学研究

「テーマが決まらない」を乗り越える
浦上昌則・藤田知加子・解良優基 編著
マンガと対話を手がかりに「研究とは何か」
「テーマをどう探すか」を考える。1980円

やさしく学ぶ教育心理学

一人と人とのつながりを求めて
栗川直子・浜崎隆司 編著
人と人との関係を重視した教科書。理論
編と実践編の二部構成。2530円

グローバル時代の教育相談

多様性の中で生きる子どもと教師
大家まゆみ・稲垣勉 編
多文化共生社会における多様性を尊重す
る教育相談とは？2530円

岡本祐子著作集第一巻 中年からの アイデンティティ心理学

成人期の危機と発達
岡本祐子 著 3960円

チーム・ダイナミックス の行動科学

組織の生産性・安全性・創造性を高める
鍵はどこにあるのか
山口裕幸 編著 3630円

多変量解析のための SPSS操作マニュアル

―解析手順から結果・解釈の書き方まで
明石法子・岸田拓也・花塚優貴・天野成昭 著
身近な題材で理解を深めよう。2970円

みんなが知りたい 脳と心のつながり

―よりよい人生にするための行動科学入門
坂本敏郎・上北朋子 著
人生に役立つ入門テキスト。2750円

保育のためのやさしい 教育心理学 第2版

高村和代・安藤史高・小平英志 著
子どもの見方を身につけるために、教育心
理学は役に立つ！2090円

学級経営の心理学

―子どもと教師がともに成長するために
弓削洋子・越良子 編著
子ども、教師、集団の心理的ダイナミクスを
実証研究から説明。2860円

新版K式発達検査(KD)による 子どもの理解と発達支援

―初版から2009年版まで変わったこと
と変わらないこと
郷間英世・清水里美・清水寛之 編 3630円

コミュニケーション の社会心理学

―伝える・関わる・動かす
岡本真一郎 編
最先端の研究を幅広く解説。3520円

フリー統計分析ツール HADのトリセツ

―心理学データの分析から結果のまとめ
方まで 横田晋大 著
見たまま簡単！徹底マニュアル。3520円

キャリア心理学強み デザインガイドブック

―自分にワクワクできるワークシヨップ
をつくる
新免玲・杉山崇 著 2200円

学校コミュニティにおける スクールカウンセラーの 心理・社会的支援

坪田祐季 著 3300円

キャリアを支える教職入門

―ワークで探るこれからの教師と学校
小川翔大・久野弘幸 編著
教職の仕事や学校の最新動向への理解を深
めて進路をじっくり考えよう。2530円

なぜ子どもはミニカー に乗りうとするのか

―スケールエラからみる幼児期の物体
認識の発達心理学
石橋美香子 著 4180円

芸術鑑賞の心理学

―展示照明や特殊レンズの効果を探る
西川恵 著
作品をより美しく見せる明るさは。より
良い芸術鑑賞の実現方法を探る。5280円

すいすい学べる 認知行動療法

―行動療法の基本と認知療法、マインドフ
ルネス
松野航大・嶋大樹・原真太郎 著 2530円

人間関係の学び方

―人間性豊かな関係を育むラボラトリ―
方式の体験学習の理論と実践
土屋耕治・楠本和彦・中村和彦 編
人間性豊かな関係と社会のために。2750円

社会性の発達心理学

長谷川真里・佐久間路子・林創 編著
重要テーマを第1線の研究者が解説。基本を
学びたい読者にも、深く知りたい読者にも
有用なアドバンステキスト。2860円

大学生の学びと成長

―知識・他者・自分との関係から人生をつくる
河井亨 著
リフレクシヨとラーニング・クリジングを軸
に学びと成長の創出を解説。2970円

やさしく学べる 心理統計法入門

―再増補版
―こころのデータ理解への扉その3
鈴木公啓 著
基礎が身につく好評テキスト。2970円

ルールフルネス

―役割満足感の心理学
加藤大樹・鈴木美樹江 著
自分が誰かの役に立っているという実感が
あると人は立ち上る。4840円

京都北山エリア ぐるっと心理学さんぽ

―「心」ってなんだろっ？
伊藤一美・向山泰代 編
こころちゃんと歩いて学ぼう。2200円

ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111
FAX 075-723-0095

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15
https://www.nakanishiya.co.jp/ (税込価格)

新刊

P-F スタディ 学生用 (高校生・大学生)

【著者代表】 秦 一士

検査用紙 (回答用紙+整理票) 並びに学生用スコアリング・マニュアル販売中

P-F スタディ解析支援サービス (Windows PC, Mac PC, iPad 対応) も学生用に対応



MMPI-3 日本版

Y. S. Ben-Porath A. Tellegen

MMPI-3 日本版研究会

ハントスコアリング, 採点プログラム, 解釈支援システムの3つの方法で利用可能

具体的な査定法を事例で学べる【新刊】MMPI-3 日本版による心理査定 販売中

MMPI ミネソタ多面的人格目録

S. R. Hathaway J. C. McKinley

MMPI 新日本版研究会

DSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度

P. Birlleson

村田 豊久 神本 亜紀 森 陽二郎 竹田 祥子

CMI 健康調査表

K. Brodman A. J. Erdmann H. G. Wolff

金久 卓也 深町 建 野添 新一

SCAS スペンス児童用不安尺度

S. H. Spence

石川 信一

SDS うつ性自己評価尺度

W. W. K. Zung

福田 一彦 小林 重雄

SASS-J 自記式社会適応度評価尺度

M. Bosc A. Dubini V. Polin

中村 純 樋口 輝彦

STAI 状態・特性不安検査 (Form X)

C. D. Spielberger

水口 公信 下仲 順子 中里 克治

MAS・CMAS 顕在性不安尺度

J. A. Taylor 阿部 満洲 高石 昇

A. Castaneda 坂本 龍生

BAQ 日本版 Buss-Perry 攻撃性質問紙

A. H. Buss M. Perry

HP2000 研究会

LSAS-J リーボヴィッツ社交不安尺度

M. R. Liebowitz

朝倉 聡

TAS-20 トロント・アレキシサイミア尺度

R. M. Bagby J. D. A. Parker G. J. Taylor

小牧 元 前田 基成

AQ 日本語版 自閉症スペクトラム指数

S. Baron-Cohen S. Wheelwright

若林 明雄

神経心理学的検査・知能検査

BGT ベンダー・ゲシュタルト・テスト

L. Bender 高橋 省己

コース立方体組み合わせテスト

S. C. Kohns 大脇 義一

BVRT ベントン視覚記銘検査

A. L. Benton 高橋 剛夫

DAM グッドイナフ人物画知能検査

F. L. Goodenough 小林 重雄 伊藤 健次

KWCST 慶應版ウィスコンシンカード分類検査

鹿島 晴雄 加藤 元一郎



Kokolog / こころぐ Web アプリによる専門家向け心理検査サービス

MMPI-3 日本版解釈支援システム (解釈文自動出力)

P-F スタディ解析支援サービス STAI 状態・特性不安検査 web サービス

ベントン視覚記銘検査採点 web サービス (詳細版・簡易版)

専用ページ

<https://kokolog.info>

心理検査専門出版社 株式会社 三京房

TEL 075-561-0071 FAX 075-525-1244

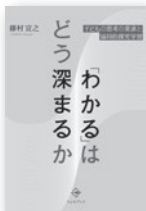
<https://sankyobo.co.jp>

「わかる」はどう深まるか

子どもの思考の発達と
協同的探究学習

藤村宣之 著

四六判並製312頁／定価: 2700円

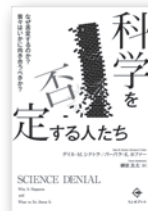


科学を否定する人たち

なぜ否定するのか？
我々はいかに向き合うべきか？

ゲイル・M. シナトラ,
バーバラ・K. ホファー 著
榊原良太 訳

四六判並製312頁／定価: 2800円



歩行が広げる乳児の世界

発達カスケードの探究



外山紀子・西尾千尋・
山本寛樹 著

四六判並製208頁／定価: 2200円

心理学を遊撃する

再現性問題は恥だが
役に立つ



山田祐樹 著

A5判並製240頁／定価: 2600円

こころのやまいのとらえかた

佐々木 淳 著

四六判並製264頁／定価: 2400円



障害理解のリフレクション

行為と言葉が描く
〈他者〉と共にある世界

佐藤貴宣・栗田季佳 編

四六判並製384頁／定価: 2800円



子どもの話を聴く

司法面接の科学と技法



デブラ・A. プール 著
司法面接研究会 訳

A5判並製280頁／定価: 2800円

日本の部活

(BUKATSU)

文化と心理・行動を読み解く



尾見康博 著

四六判並製160頁／定価: 1700円

犯罪へ至る道, 離れる道

非行少年の人生

ロバート・J. サンプソン,
ジョン・H. ラウブ 著
相良 翔・大江将貴・
吉間慎一郎・向井智哉 訳

A5判並製336頁／定価: 4200円



教育の〈自由と強制〉

矯正教育における
ナラティブ実践の機能
に関する教育学的研究

仲野由佳理 著

A5判上製272頁／定価: 4600円



学びを愉しく

10th Anniversary

株式会社 ちとせプレス

〒157-0062

東京都世田谷区南烏山 5 丁目20-9

ハウス・アム・バンホフ 203

Webサイト: <http://chitosepress.com>

E-mail: info@chitosepress.com

Tel: 03-4285-0214 / Fax: 03-4243-3725

青山征彦・古野公紀・サトウタツヤ 編

学習マッピング

動物の行動から人間の社会文化まで

学習は心理学を中心に膨大な研究があり、内容も多岐にわたる。本書は、動物の行動から人間の社会文化におよぶ学習研究をマッピングという手法で整理し、第一線の研究者が解説。

四六判 248頁・3190円

マーク・ジョンソン 著 小熊正久 訳

身体の意味

人間的理解力の美学

イメージ、感情、隠喩など意味形成は世界との身体的なつながりに根ざし、芸術は意味を見つける人間の根源的な営みであり、哲学の基盤でもあることを検証、大胆で新しい心の概念を提示。

A5判 416頁・5720円

N・ステフェンズ、F・リンク、M・ライアン 編

組織心理学・再入門

ブレイクスルーを生んだ14の研究

リーダーシップ、組織風土、ウェルビーイング、ワークライフ・バランスなど、組織心理学を発展させてきた重要な研究を取り上げ、その背景、概要、発展、批判、応用までを解説。池田浩・林洋一郎 監訳 A5判 344頁・5280円

D・フリードマン 著 茂呂雄二 訳

パフォーマンズ・アクティヴィズム

先駆者たちと今日のバイオニアたち

劇場の制約を解き放ち、社会の現実を再構築する運動として発展してきたパフォーマンズ・アクティヴィズム。世界中で進行するその多様な実践を歴史的に概観、体系的に理解する。

四六判 448頁・5280円

新曜社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-9
☎ 03-3264-4973 FAX 03-3239-2958

〈表示価格は税込〉

コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの研究

高橋智・能田昂・田部絢子 編著

4950円

教員養成学を考える

上越教育大学「教員養成学」書籍編集委員会 編

4180円

砂場における幼児同士の遊びの特徴と過程の検討

箕輪 潤子 著

6600円

国際学力調査に基づく読書指導法の開発研究

足立 幸子 著

10450円

国語教育における子どもの表現力の探求と指導

有働玲子 編著

6600円

小学校国語科における討論指導に関する研究

北川 雅浩 著

4950円

関係性に基づく幼児の情動調整

勝野 愛子 著

6050円

中学生の充実感と担任教師による自律支援的指導態度

鹿嶋 真弓 著

8250円

重度自閉症児と共に生きる精神障害者のライフストーリー

井上孝代・永濱檸檬 著

2750円

負傷競技者のスポーツ傷害受容に関する研究

辰巳 智則 著

7700円

別居・離婚後の子どもの心理的適応に関する研究

直原 康光 著

11000円

授業リフレクション研究による学びの考究

澤本 和子 著

7700円

子どもの社会的行動のアセスメント

—早期発見と支援に生かせる乳幼児健診でのままこと遊び—(DVD付)
神尾陽子 監修／別府悦子・宮本正一 編著

2970円



集団適応に困難をかかえる 子どもの理解と対応

相澤雅文【著】 ● A5 判／定価 2420 円（税込）

子どもの社会性発達や情動調整する力を育むために、基本的な事項の理解を学び、具体的な 24 のケースから対応を導き出す。

先生ができる 気になる子どもとの関わり方 33 のケースから考える支援のヒント

角南なおみ【著】 ● B5 判／定価 2420 円（税込）

さまざまな立場の人の理解と心情に寄り添い、学校や保護者への励ましと救いの手となる書。

知的障害のある人への心理支援 思春期・青年期におけるメンタルヘルス

下山 真衣【編著】

● A5 判／定価 2420 円（税込）

知的障害のある人たちにに向けた心理支援に関する知識や考え方をまとめ、具体的なサポート方法を提示する。



新刊



新刊

笑える魅力があふれてる！ ADHD さくちゃんと ママの凸凹な毎日

日戸由刈【監修】 のみ山のみ【著】 大山美香【解説】

● 四六判／定価 1760 円（税込）

本田秀夫
先生
推薦



応用行動分析学 (ABA) テキストブック

基礎知識から保育・学校・福祉場面への応用まで

野呂文行【監修】 永富大輔・朝岡寛史【編著】

● B5 判／定価 3960 円（税込）

ディスレクシア・ ディスグラフィアの理解と支援 読み書き困難のある子どもへの対応

川崎聡大【著】 ● B5 判／定価 2530 円（税込）



発達障がいといじめ 発達の多様性に応える予防と介入

小倉正義【編著】

● A5 判／定価 2970 円（税込）



学苑社

〒 102-0071 東京都千代田区富士見 2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 5F

<https://www.gakuen-sha.co.jp/>

TEL 03-3263-3817 FAX 03-3263-2410



集団で言葉を学ぶ／ 集団の言葉を学ぶ

石田喜美編 定価 3,080 円

言葉やリテラシーの学びについて、幼稚園や高校・学校図書館など様々なフィールドでの実践の報告をもとに、「みんなで」学ぶことで何が生まれるのかを考える。
執筆：青山征彦、新居池津子、石田喜美、伊藤崇、岡部大介、高岡佑希、宮澤優弥、吉沢夏音、吉永安里



新しい言語心理学

茂呂雄二・伊藤崇・新原将義編
定価 2,640 円

ことばの実践という見方に立ち、豊富な事例から、心とことば、社会とことば、ことばの発達、ことばの障害に関する従来の知識をおさえつつ新しい考え方を学ぶテキスト。

執筆：青山征彦、伊藤崇、太田礼穂、城岡祥子、新原将義、広瀬拓海、仲嶺真、茂呂雄二



言語行動論考

杉戸清樹著 定価 11,000 円

言語行動を考察対象に据えた著者の既出論文約 40 件を集録。各論文の当初の内容を生かしつつ、部立て構成により一書として言語行動論を企図する。



ここからはじまる道徳教育

平田文子・打越正貴・宮本浩紀著 定価 3,190 円

現職の学校教師にも役立つ、道徳教育論のテキスト。

パフォーマンス・アプローチ心理学 自然科学から心のアートへ

フレド・ニューマン、ロイス・ホルツマン著 茂呂雄二監訳 定価 3,080 円
ヴィゴツキー、ウィトゲンシュタインに基づく心理学の提案。

学びのエクササイズ 子どもの発達とことば

伊藤崇著 定価 1,760 円

多様な場面のコミュニケーションから読み解く発達の教科書。

〈価格税込〉

■ ひつじ書房の刊行案内やセールなどのお知らせは「ひつじメール通信」から配信中。

ご希望の方は toiawase@hituzi.co.jp までメールでご連絡ください。

〒 112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F ひつじ書房

TEL 03-5319-4916 FAX 03-5319-4917 toiawase@hituzi.co.jp <https://www.hituzi.co.jp/>

新刊情報は
こちらから



ひつじ書房



最新刊

学校で教師ができるアセスメント 高橋あつ子 著 24200円
教育相談の理論と方法 (改訂版) 会沢信彦 編著 25300円
心とふれあう教育相談 (改訂版) 卯月研次・後藤智子 編著 27500円

パフォーマンス教職入門

郡司菜津美 著 — みんなで一緒に育つために

ワークによるパフォーマンスを通じ、教員という仕事について考え学ぶ教職入門のテキスト。子どものみならず、子どもに関わる人々の成長や気づきを支える書。本書LINEスタンプも登場! 25300円

教育心理学の理論と実践

新刊 会沢信彦・桑原千明 編著

評 教育心理学の諸理論をわかりやすく解説。実践に活かせる視点から編まれた、理論と実践を架橋するテキスト。各章末のコラムでは、現場での問題や課題、実践を通して得られた見地を掲載。 24200円

知って広がる教師の世界

鹿嶋真弓・所澤潤 編著

執筆者のそれぞれの専門分野から、豊富な研究成果を基に、様々な事例・実践を紹介しながら、教師の仕事の多様な側面に触れ、その仕事の奥深さや魅力を伝え、「教育の根幹」に迫る。 24200円



実践につながる教育心理学 (改訂版) 櫻井茂男監修 黒田祐一 編著 24200円
実践につながる教育相談 (改訂版) 黒田祐一・清水貴裕・飯田順子 編著 26400円
よっこそ教育心理学の世界へ (第4版) 神藤貴昭・久木山健一 著 24200円
教職ベーシック 発達・学習の心理学 (新2版) 柏崎秀子 編著 22000円
教師と学生が知っておくべき教育心理学 武田明典 編著 25300円
教師と学生が知っておくべき教育方法論・ICT活用 武田明典・村瀬公胤 編著 24200円
教師と学生が知っておくべき特別支援教育 (改訂版) 北島善夫・武田明典 編著 19800円
「脱・心理学」入門 10代からの文化心理学 新原将義 著 19800円
必修・生徒指導と教育相談 渡辺弥生・西山久子 編著 23100円
デザイン・リアリティ (増補版) 有元典文・岡部大介 編著 24200円

教材に最適!

『動画で学ぼう! 発達心理学』 長谷川真里 監修
0歳~11歳までの幅広い年齢の子どもの特徴や、それらを捉えるための実験の様子を、成功/失敗例も含め収録。(DVD Video 収録約70分)

詳細はこちら!



北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-2-6

TEL: 03-3715-1525 FAX: 03-5720-1488

URL: <http://www.hokuju.jp> E-mail: eigyo1@hokuju.jp



有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

<https://www.yuhikaku.co.jp/>

(表示価格は税込)

サイエンティスト・プラクティショナー入門

心理職をめざす人のために

武藤 崇 編著 堀越 勝・石山裕菜・大屋藍子 著

対人援助の「職業」や「倫理」の基盤となる、「科学者」「実践家」モデルの考え方や具体的スキルが学べる日本初の教科書。 四六判 予定価 23100円

認知科学をはじめの「人間らしさ」の読み解き方

本田秀仁・林 勇吾・宮崎美智子 著

認知科学の広く深い世界をやさしく案内する入門書。 四六判 予定価 25300円

やさしい発達と学習 改訂版

外山紀子・外山美樹 著

非認知能力、インクルーシブ教育、ヤングケアラーなど、最新動向や社会的課題を盛り込んだ一四年ぶりの改訂! 四六判 予定価 24200円

臨床心理学入門 改訂版

岩壁 茂・福島哲夫・伊藤絵美 著

多様なアプローチを越境する 四六判 予定価 23100円

基礎から学ぶ認知心理学 改訂版

服部雅史・小島治幸・北神慎司 著

人間の認識の不思議 四六判 予定価 23100円

エピソードに学ぶ教育心理学

中谷素之・中山留美子・町 岳 著

A5判 予定価 20900円

臨床心理学 改訂版 New Liberal Arts Selection

丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木 淳・杉山明子 著 「二色刷」A5判 予定価 47300円

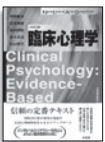
臨床心理学の基礎、理論と実際、様々な心理的障害の理解と支援について体系的に整理した決定版テキスト。一〇年ぶり待望の改訂。

メタフォリカル・マインド 心理学的思考の

補見 孝 著 A5判 定価 27500円

心理学研究のための倫理ガイドブック

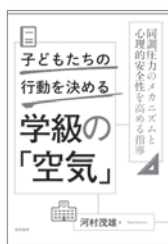
日本発達心理学会 監修 仲真紀子・能智正博・片桐正敏 編 A5判 (12月刊行予定)



有斐閣ストゥディーズシリーズ

有斐閣アルマシリーズ

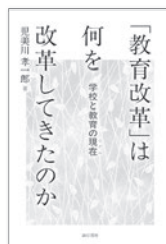
有斐閣y-knotシリーズ



A5判 / 194 頁
2200 円

子どもたちの行動を決める学級の「空気」

【同調圧力のメカニズムと心理的安全性を高める指導】河村茂雄 著
子どもたちは常に学級の「空気」を読んで行動する。空気が作られる過程、そして理想的な空気のつくり方を紹介した、教師必携の書。



四六判 / 174 頁
1980 円

「教育改革」は何を改革してきたのか

【学校と教育の現在(リアル)】
児美川 孝一郎 著 間断なき教育改革の過程を検証することで見えてきた、日本の教育に刻み込まれた特質。新自由主義的な教育改革のゆくえを考える。

子どもの非認知能力を育成する教師のためのソーシャル・スキル

河村茂雄 著 教師として、今後の社会で大事となる子どもの「非認知能力」をどう育成するか。その方法を、具体例や心理学的な理論を交えながら紹介。[1980 円]



キャリア教育がわかる

【実践をデザインするための〈基礎・基本〉】児美川 孝一郎 著
キャリア教育の基礎・基本からホットな争点までをフォローし、その取り組みを学校の教育活動の「日常」に落とし込んでいく方法を探る。[2530 円]



アクティブラーニングを成功させる学級づくり

【記自ら学ぶ力】を着実に高める学習環境づくりとは 河村茂雄 著 アクティブラーニングの効果を上げる学級をつくるための理論や実践方法を紹介。[1980 円]



セラピストのための子どもの発達ガイドブック

【0歳から12歳まで 年齢別の理解と心理的アプローチ】ディー・C・レイ 編著 適切に子どもに介入するために必要な年齢別基礎知識。[3520 円]



誠信書房 SEISHIN SHOBO Tel 03-3946-5666 Fax 03-3945-8880
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-20-6

<https://www.seishinshobo.co.jp/> @seishinshobo



えんしゅうめんつむぎ
遠州綿紬
ぬくもり工房



江戸時代より遠州地方につたわる、
「遠州綿紬」の色とりどりな
生地や雑貨を販売しています。



公式ホームページ

ぬくもり工房 本店
〒434-0046
静岡県浜松市浜名区染地台 3-12-25
営業時間 10～18 時 水曜定休
TEL : 053-545-6391



SP感覚プロフィール

3歳～82歳を対象に、聴覚、視覚、前庭覚、触覚、複合感覚、口腔感覚における感覚の過敏さや過鈍さ等を把握する検査です。質問は、感覚処理、調整、行動や情動反応の大きく3つに分けられます。対象者について、保護者や観察者(支援者)が質問票に回答し、検査者が採点と解釈を行います。

ユーザーマニュアル	13,200円(税込)	原著者	Winnie Dunn	適用範囲	3歳～82歳
質問票セット	13,200円(税込)	原版出版社	Pearson	実施時間	30分(短縮版:10分)
短縮版(SSP)質問票	11,000円(税込)	日本版監修	辻井 正次		
		日本版作成	萩原 拓、岩永 竜一郎、伊藤 大幸、谷 伊織		

関連製品

ITSP乳幼児感覚プロフィール

ユーザーマニュアル 13,200円(税込)
質問票セット 13,200円(税込)

AASP青年・成人感覚プロフィール

ユーザーマニュアル 13,200円(税込)
質問票 11,000円(税込)

 日本文化科学社



SP感覚プロフィールは、NCS Pearson, Inc. との契約に基づいて作成されたものです。

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com> (価格税込)

教育心理学^{〔仮題〕}

秋田喜代美, 藤村宣之, 鹿毛雅治, 奈須正裕 編著
A5・約240頁・予価2420円 教育心理学という学問の存在意義, 可能性, 課題等を明らかにするとともに, 初学者にもエッセンスと魅力をわかりやすく伝えるテキスト。学習者・子ども視点での疑問をベースとした問いを意識したワークや自学自習がしやすい工夫を取り入れ, 主体的・対話的で深い学びに導く。

非認知能力の発達

一生涯にわたる変化と影響― 小塩真司 編著 A5・336頁・定価2970円 非認知能力はどのように発達するのか。教育的・養育的関わりを含めたさまざまな人間関係やライフイベントの影響のもと, 心理特性相互の関連性にも着目しつつ, 人生全体にわたって変化するものとして捉える。発達概念とあわせもつ多様な意味を考える奥深さへといざなう。

学習科学ガイドブック 学校教育実践編^{〔仮題〕}

河野麻沙美, 河崎美保 編著 A5・約160頁・予価2420円 好評書「学習科学ガイドブック」を更に発展させ, 問いを立てながら学習科学の学びを深めるとともに, 得られた学びを学校教育現場で実践することに主眼を置いた。「学習科学への招待」, 「学習指導要領への学習科学的アプローチ」, 「学習科学で生み出すこれからの学び」の3部構成に分かれている。

心理学・教育学研究のための効果量入門

―Rを用いた実践的理解― 中村大輝 著 A5・232頁・定価3520円 ジャーナルでの研究報告に求められる効果量とその信頼区間について, 理論から実践まで体系的に学べるテキスト。効果量の定義, 計算方法, 解釈や統合の方法, 効果量に基づくサンプルサイズ設計の方法を, Rコードと論文での実際の記載例を交えて紹介。

人はいかに学ぶのか

一授業を変える学習科学の新たな挑戦― 全米科学・工学・医学アカデミー編 秋田喜代美, 一柳智紀, 坂本篤史 監訳 A5・396頁・定価4620円 『How People Learn (邦題: 授業を変える)』から20年の間で明らかになった知見に基づき再構成された最新版。脳科学・神経科学, 動機づけ研究や文化等多様な切り口から人の「学び」に迫る。

人についての柔らかな理解

一本当は「温かい」クリティカル・シンキング― 吉田寿夫 著 A5・384頁・定価3960円 人は様々な「決めつけ・思い込み」を意識せずに行っている。それは, 他者や自分が傷ついたり人間関係が悪化したりすることに強く関わっている。決めつけや思い込みから脱し, 人を柔らかに冷静に理解するための視点や考え方を, 具体策を交えながら提言する。

主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック

大島 純, 千代西尾祐司 編 A5・240頁・定価2420円 アクティブ・ラーニングの観点から, 人の学びのメカニズムについて科学的に考える。各節3〜5ページの読み切りで編集し, スキーマ, メタ認知, 自己調整学習といった知見を易しく解説した, 教養としての学習科学入門。

経験サンプリング法入門

一集中的縦断研究のデザインと分析を学ぶ― ナイアル・ボルジャー, ジャン=フィリップ・ロレンソ 著 尾崎由佳 訳 A5・264頁・定価3850円 調査対象者の行動・感情データをリアルタイムで短期間に繰り返し収集する, 経験サンプリング法や日誌法の手引き書。研究デザインの選択, 得られたデータの扱い方と関連する統計学的知識, 理論のモデル化を解説。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事 〔全20巻〕 完結！

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148〜232頁・定価2200〜2530円

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |